

GARMIN[®]

Garmin DriveAssist™ 50



マニュアル

© 2015 Garmin Ltd. or its subsidiaries

無断転載禁ず。著作権法により、Garmin 社の書面による承認なしに、本マニュアルの全体または一部をコピーすることはできません。Garmin 社は、ユーザーや組織に通知する責任を負うことなく本マニュアルの内容を変更または改善したり、内容を変更する権利を有します。本製品の使用に関する最新情報および補足情報については、www.garmin.com を参照してください。

Garmin®、および Garmin ロゴは、Garmin Ltd.とその子会社の米国およびその他の国における登録商標です。これらの商標を、Garmin 社の明示的な許可なしに使用することはできません。

Garmin babyCam™、Garmin Connect™、Garmin DriveAssist™、Garmin Express™、Garmin Real Vision™、および myTrends™は、Garmin Ltd.またはその子会社の商標です。これらの商標を、Garmin 社の明示的な許可なしに使用することはできません。

Android™は Google Inc.の商標です。Apple®および Mac®は、米国およびその他の国における Apple Inc.の商標です。Bluetooth® ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.の所有であり、Garmin はライセンスに基づきこのワードマークまたはロゴを使用しています。Foursquare®は、Foursquare Labs, Inc.の米国およびその他の国における商標です。microSD™および microSDHC ロゴは SD-3C, LLC.の商標です。Windows®、Windows Vista®、および Windows XP®は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

目次

はじめに.....	1
製品の更新.....	1
Garmin Express による地図とソフトウェアの更新.....	1
Garmin DriveAssist デバイスの概要.....	1
ダッシュカメラのメモリカードを挿入する.....	2
デバイスを車両電源に接続する.....	2
デバイスの電源をオンまたはオフにする.....	2
GPS 信号を捕捉する.....	2
ステータスバーアイコン.....	2
オンスクリーンボタンを使用する.....	2
音量を調整する.....	2
自動音量を有効化する.....	3
オーディオミキサーを使用する.....	3
画面の輝度を調整する.....	3
ダッシュカメラ.....	3
カメラの位置を合わせる.....	3
ダッシュカメラによる録画.....	3
ビデオ録画を保存する.....	3
写真を撮影する.....	3
ダッシュカメラによる録画を停止 / 開始する.....	3
ビデオや写真を表示する.....	3
コンピュータでのビデオや写真.....	3
ビデオまたは写真を削除する.....	3
ドライバーへの注意喚起の機能とアラート.....	3
オーディブルドライバーアラートを有効または無効にする.....	4
赤信号カメラとスピードカメラ.....	4
高度運転支援システム.....	4
高度運転支援機能を有効または無効にする.....	4
進行アラート.....	4
前方衝突警告システム.....	4
車線逸脱警告システム.....	5
目的地へのナビゲーション.....	5
ルート.....	5
ナビゲーションを開始する.....	5
地図を使用してナビゲーションを開始する.....	5
帰宅する.....	5
地図上のルート.....	6
アクティブ車線案内.....	6
方向転換と方向指示を表示する.....	6
地図にルート全体を表示する.....	6
Garmin Real Vision™ の支援による目的地到着.....	6
ルートに場所を追加する.....	6
ルートを形成する.....	6
迂回路を検索する.....	7
ナビゲーションを停止する.....	7
ルート探索方法を変更する.....	7
トリッププランナー.....	7
トリップを計画する.....	7
保存されているトリップをナビゲーションする.....	7
トリップの目的地の順序を最適化する.....	7
トリップの場所を編集および並べ替える.....	7
アクティブルートを編集および保存する.....	7
トリップのルート探索オプションを変更する.....	7
トリップのスケジュールを設定する.....	7
推奨ルートを利用する.....	8
遅延、有料道路、およびエリアを回避する.....	8
ルート上の交通遅延を回避する.....	8
有料道路を回避する.....	8
有料ステッカーを回避する.....	8
道路の回避機能.....	8
環境ゾーンを回避する.....	8
カスタム回避.....	8
直行ルートをナビゲーションする.....	8

位置の検索と保存を行う.....	8
検索バーを使用して位置を検索する.....	9
検索結果を地図に表示する.....	9
検索エリアを変更する.....	9
ジャンル別施設.....	9
カテゴリーを入力して位置を検索する.....	9
カテゴリー内を検索する.....	9
場所内のジャンル別施設にナビゲーションする.....	9
Foursquare.....	9
検索ツール.....	10
住所を検索する.....	10
交差点を検索する.....	10
都市を検索する.....	10
座標を使用して位置を検索する.....	10
最近検索した位置を表示する.....	10
最近検索した場所のリストを消去する.....	10
最後に駐車した場所を検索する.....	10
現在地情報を表示する.....	10
緊急時サービスとガソリンスタンドを検索する.....	10
現在地への道順を表示する.....	10
ショートカットを追加する.....	10
ショートカットを削除する.....	10
位置を保存する.....	10
位置を保存する.....	10
現在地を保存する.....	11
保存した位置を編集する.....	11
保存した位置にカテゴリーを割り当てる.....	11
保存した位置を削除する.....	11
地図を使用する.....	11
地図ツール.....	11
地図ツールを表示する.....	11
地図ツールを有効にする.....	11
この先.....	11
この先の場所を表示する.....	11
[この先] カテゴリーをカスタマイズする.....	12
トリップ情報.....	12
地図からトリップデータを表示する.....	12
トリップ情報ページを表示する.....	12
軌跡ログを表示する.....	12
トリップ情報をリセットする.....	12
進行方向の交通事故を表示する.....	12
地図上に交通渋滞情報を表示する.....	12
交通事故情報を検索する.....	12
地図をカスタマイズする.....	12
地図レイヤーをカスタマイズする.....	12
地図データフィールドを変更する.....	12
地図表示方法を変更する.....	12
トラフィックデータ.....	12
トラフィックレーサーを使用してトラフィックデータを受信する.....	13
Smartphone Link を使用してトラフィックデータを受信する.....	13
トラフィック購読について.....	13
トラフィックサブスクリプションを表示する.....	13
サブスクリプションを追加する.....	13
トラフィックを有効にする.....	13
音声コマンド.....	13
ウェイクアップフレーズを設定する.....	13
音声コマンドを有効化する.....	13
音声コマンドのヒント.....	13
音声コマンドを使用してナビゲーションを開始する.....	13
音声コマンドを使用してビデオ録画を保存する.....	14
ミュートの手順.....	14
音声制御.....	14
音声制御の設定.....	14

音声制御の使用	14	電源ケーブル	20
音声制御のヒント	14	デバイスを充電する	20
Bluetooth 接続の機能	14	デバイスのメンテナンス	20
電話とのペアリングと Smartphone Link への接続を行う	14	デバイスのお手入れ	20
Bluetooth 機能のステータスアイコン	14	カメラレンズのクリーニング	20
Apple デバイス用に Bluetooth 機能をセットアップする	14	外側ケースのクリーニング	20
Apple デバイスの Smartphone Link アプリに接続する	14	タッチスクリーンのクリーニング	20
Apple デバイスのハンズフリー通話を無効にする	15	盗難防止	20
Apple デバイスの Smartphone Link のデータとスマート通知を無効にする	15	デバイスをリセットする	20
Android™ が搭載されたスマートフォンの Bluetooth 機能をセットアップする	15	デバイス、マウント、吸着カップを取り外す	20
Android スマートフォンの Smartphone Link アプリに接続する	15	マウントからデバイスを取り外す	20
Android が搭載されたスマートフォンの Bluetooth 機能を無効にする	15	吸着カップからマウントを取り外す	20
Smartphone Link	15	フロントガラスから吸着カップを取り外す	20
Smartphone Link をダウンロードする	15	車両電源ケーブルのヒューズを交換する	20
電話からデバイスに位置を送信する	15	トラブルシューティング	21
Garmin ライブサービス	15	録画したビデオがぼやけている	21
Garmin ライブサービスに申し込む	16	録画したビデオが途切れる / 不完全	21
スマート通知	16	メモリーカードの寿命を延ばすにはどうすればよいですか？	21
通知を受信する	16	吸盤がフロントガラスに取り付けられない	21
通知のリストを表示する	16	デバイスで衛星信号を受信できない	21
ハンズフリー通話	16	デバイスを車両で充電できない	21
電話をかける	16	充電しても電池の電力が長持ちしない	21
電話を受ける	17	使用しているデバイスが、コンピュータのリムーバブルデバイスとして表示されません	21
通話履歴を使用する	17	使用しているデバイスが、コンピュータのポータブルデバイスとして表示されません	21
通話中オプションを使用する	17	使用しているデバイスは、コンピュータのポータブルデバイス、リムーバブルドライブ、ポリュームのいずれとしても表示されません	21
自宅の電話番号を保存する	17	電話がデバイスに接続されません	21
Bluetooth デバイスの取り外し	17	付録	22
ペアリングした電話を削除する	17	地図およびデータ用のメモリーカードを挿入する	22
アプリケーションを使用する	17	データ管理	22
ヘルプファイルの表示	17	メモリーカードについて	22
ヘルプトピックを検索する	17	デバイスをコンピュータに接続する	22
天気予報を表示する	17	コンピュータからデータを転送する	22
別の都市周辺の天気を表示する	17	GPS 信号ステータスを表示する	22
気象観測レーダーを表示する	17	追加の地図を購入する	22
気象警報を表示する	17	アクセサリを購入する	22
道路状況を確認する	17	索引	23
photoLive トラフィックカメラ	17		
トラフィックカメラを保存する	17		
トラフィックカメラを表示する	18		
前のルートと目的地を表示する	18		
デバイスをカスタマイズする	18		
地図および車両設定	18		
地図を有効にする	18		
ナビゲーション設定	18		
計算モードの設定	18		
シミュレートされた場所を設定する	18		
カメラ設定	18		
バックアップカメラ設定	18		
babyCam 設定	19		
Bluetooth 設定	19		
Bluetooth を無効にする	19		
ディスプレイ設定	19		
トラフィック設定	19		
単位および時間設定	19		
時間を設定する	19		
言語およびキーボード設定	19		
近接アラート設定	19		
デバイスおよびプライバシー設定	19		
設定を初期化する	19		
デバイス情報	20		
仕様	20		

はじめに

⚠ 警告

製品に関する警告およびその他の重要な情報については、製品パッケージに同梱されている『安全性および製品に関する重要な情報』ガイドを参照してください。

- メモリカードを挿入します (ダッシュカメラのメモリカードを挿入する, 2 ページ)。
- デバイスの地図とソフトウェアを更新します (Garmin Express による地図とソフトウェアの更新, 1 ページ)。
- 車両にデバイスを取り付け、電源に接続します (デバイスを車両電源に接続する, 2 ページ)。
- ダッシュカメラの位置を合わせます (カメラの位置を合わせる, 3 ページ)。
- GPS 信号を捕捉します (GPS 信号を捕捉する, 2 ページ)。
- 音量を調整し (音量を調整する, 2 ページ)、ディスプレイの輝度を調整します (画面の輝度を調整する, 3 ページ)。
- 目的地までナビゲーションします (ナビゲーションを開始する, 5 ページ)。

製品の更新

コンピュータで、Garmin Express™ (www.garmin.com/express) をインストールします。

これにより、Garmin®デバイス向けのこれらのサービスに簡単にアクセスできます。

- ソフトウェアアップデート
- 地図の更新
- 製品登録

Garmin Express による地図とソフトウェアの更新

Garmin Express ソフトウェアを使用して、お使いのデバイスに対応した最新の地図やソフトウェアアップデートをダウンロードしてインストールできます。地図の更新では、お使いのデバイスで引き続き目的地への正確で効率的なルートを計算できるように利用可能な最新の地図データを提供します。Garmin Express は、Windows® コンピュータおよび Mac® コンピュータで利用できます。

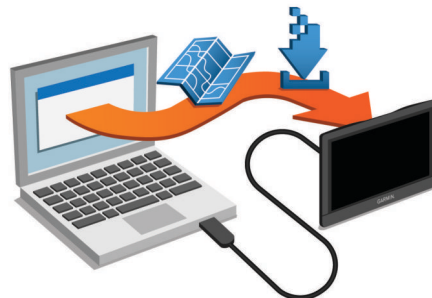
- 1 コンピュータから www.garmin.com/express にアクセスしてください。



- 2 次のの中からオプションを選択します。
 - Windows コンピュータにインストールするには、**ダウンロード (Windows)** を選択します。
 - Mac コンピュータにインストールするには、**ダウンロード (Mac)** を選択します。
- 3 ダウンロードファイルを開き、画面に表示される指示に従って、インストールを完了してください。
- 4 Garmin Express を開始します。
- 5 USB ケーブルを使用して、Garmin デバイスをコンピュータに接続します。



- 6 デバイスの追加をクリックします。
Garmin Express ソフトウェアがデバイスを検出します。
- 7 デバイスの追加をクリックします。
- 8 画面に表示される指示に従って、ご使用のデバイスを Garmin Express ソフトウェアに追加します。
セットアップが完了すると、Garmin Express ソフトウェアはご使用のデバイスに対応した地図とソフトウェアの更新を検索します。
- 9 次のの中からオプションを選択します。
 - 利用可能なすべての更新インストールするには、**すべてインストール**をクリックします。
 - 1つの更新をインストールするには、**詳細の表示**をクリックして更新を選択します。



Garmin Express ソフトウェアがデバイスに更新をダウンロードしてインストールします。地図の更新は非常に大きく、インターネットの接続速度が遅い場合、この処理には長時間かかる場合があります。

Garmin DriveAssist デバイスの概要



①	電源キー
②	USB 電源およびデータポート
③	カメラのメモリカードスロット

④	音声コマンド / ハンズフリー通話用マイク
⑤	地図およびデータメモ리카ードスロット

ダッシュカメラのメモ리카ードを挿入する

デバイスで内蔵のダッシュカメラからビデオを録画する前に、メモ리카ードを挿入する必要があります。カメラには、4~64 GB、速度レーティングクラス 10 以上の microSD™メモ리카ードが必要です。付属のメモ리카ードを使用するか、家電販売店から互換性のあるメモ리카ードを購入して使用することができます。

- 1 カメラのメモ리카ードスロット②に、メモ리카ード①を挿入します。

注：間違ったスロットにメモ리카ードを挿入すると、カメラでビデオを録画できません。



- 2 カチッと音がするまで押し込んでください。

デバイスを車両電源に接続する

⚠ 警告

この製品には、リチウムイオン電池が使用されています。電池を高温になる場所に放置すると、怪我や製品損傷の可能性があるため、直射日光を避けた場所で装置を保管してください。

デバイスをバッテリーで使用する前に、バッテリーを充電する必要があります。

- 1 車両電源ケーブル①をデバイスの USB ポートに接続します。



- 2 マウント②が吸着カップ③にはまるまで押し込みます。
- 3 吸着カップをフロントガラスに取り付け、レバー④をフロントガラス方向に倒します。
- 4 マウントの上部にあるタブをデバイスの裏側にあるスロットにはめ込みます。
- 5 マウントの底面をカチッと音がするまでデバイスに押し込んでください。
- 6 車両の電源ケーブルの反対側の端を、車両の電源コンセントに接続します。

デバイスの電源をオンまたはオフにする

- デバイスの電源をオンにするには、電源キーを押すか、デバイスを電源に接続します。
- デバイスを省電力モードにするには、デバイスの電源がオンになっている状態で電源キーを押します。

省電力モードになっている間は画面がオフになり、デバイスはわずかな電力しか消費しませんが、すぐに復帰して使用できます。

ヒント：バッテリーを充電している間にデバイスを省電力モードにすることにより、デバイスの充電時間を短縮できます。

- デバイスの電源を完全にオフにするには、画面にプロンプトが表示されるまで電源キーを押し続け、**オフ**を選択します。5 秒後にメッセージが表示されます。メッセージが表示される前に電源キーを離すと、デバイスは省電力モードに移行します。

GPS 信号を捕捉する

ナビゲーションデバイスの電源をオンにしたとき、GPS レシーバーは衛星データを収集して現在地を確定する必要があります。ステータスバーの  は衛星信号の強度を表しています。衛星信号の取得に要する時間は、ナビゲーションデバイスを最後に使用した場所からどのくらい離れているか、空をはっきり見渡せる場所にいるかどうか、あるいは最後にナビゲーションデバイスを使用してからのどのくらい経っているかなど、さまざまな要素によって異なります。初めてナビゲーションデバイスの電源をオンにしたときは、衛星信号の取得に数分かかることがあります。

- 1 デバイスの電源をオンにします。
- 2 デバイスが衛星の位置を受信するまで待ちます。
- 3 必要に応じて、高層ビルや樹木から離れた、上空の開けた場所へ移動します。

 が緑になると、デバイスは衛星信号を受信してナビゲーションの準備が完了します。

ステータスバーアイコン

ステータスバーはメインメニューの最上部にあります。ステータスバーアイコンはデバイスの機能情報を表示します。各アイコンを選択すると、設定を変更したり詳細情報を表示することができます。

	GPS 信号ステータス。押し続けると、GPS の精度と受信した衛星情報が表示されます (GPS 信号ステータスを表示する, 22 ページ)。
	Bluetooth®テクノロジーのステータス。Bluetooth の設定を表示するときに選択します (Bluetooth 設定, 19 ページ)。
	ハンズフリー通話に接続済み。電話をかけるときに選択します (ハンズフリー通話, 16 ページ)。
	現在の時刻。時刻を設定するときに選択します (時間を設定する, 19 ページ)。
	バッテリー充電レベル。
	Smartphone Link アプリに接続済み。接続済みのデバイスとサブスクリプション情報を表示するときに選択します (電話とのペアリングと Smartphone Link への接続を行う, 14 ページ)。
	温度。天気予報を表示するときに選択します (天気予報を表示する, 17 ページ)。
	ダッシュカメラの録画ステータス。ダッシュカメラのビデオを表示するときに選択します (ダッシュカメラ, 3 ページ)。

オンスクリーンボタンを使用する

オンスクリーンボタンを使用して、デバイス上のページ、メニュー、メニューオプションを操作できます。

-  を選択すると、前のメニュー画面に戻ります。
-  を押し続けると、すばやくメインメニューに戻ります。
-  または  を選択すると、リストやメニューをスクロールします。
-  または  を押し続けるとスクロール速度が速くなります。
-  を選択すると、現在の画面に対応するオプションのコンテキストベースのメニューが表示されます。

音量を調整する

- 1 音量を選択します。

2 次の中からオプションを選択します。

- ・ スライダーバーを使用して、音量を調整します。
- ・ デバイスをミュート（消音）にするには、を選択します。
- ・ 追加オプションを表示するには、を選択します。

自動音量を有効化する

デバイスは、周囲のノイズレベルに基づいて、音量を自動的に上げたり下げたりすることができます。

1 音量 >  を選択します。

2 自動音量を選択します。

オーディオミキサーを使用する

オーディオミキサーを使用して、ナビゲーションプロンプトや通話など、さまざまなタイプの音に対して音量レベルを設定できます。各タイプの音のレベルは、マスター音量に対するパーセンテージとなります。

1 音量を選択します。

2  > オーディオミキサーを選択します。

3 スライダーバーを使用して、各タイプの音量を調節します。

画面の輝度を調整する

1 設定 > 表示 > 輝度の順に選択します。

2 スライダーバーを使用して、輝度を調整します。

ダッシュカメラ

カメラの位置を合わせる

警告

運転中にカメラの位置合わせを行わないでください。

ダッシュカメラを取り付けたり取り付け場所を変更したりするたびに、その位置合わせを行う必要があります。カメラの位置合わせを行っていないと、高度運転者支援機能が正しく機能しない場合があります。

1 設定 > カメラ >  > 整列の順に選択します。

2 デバイスを傾け、カメラを左右に回してカメラの位置合わせを行います。

十字線がまっすぐに向いて、水平線が画面の上下の中央にある必要があります。

ダッシュカメラによる録画

注記

法律上の制限

一部の法域では、本製品を使用して人物および車両の写真またはビデオを撮影して公開することは、プライバシー権の侵害とみなされる可能性があります。本製品をお使いの地域で適用される法律およびプライバシー権を認識し、それに従う責任はお客様にあります。

ビデオを録画する前に、メモリカードを挿入する必要があります（[ダッシュカメラのメモリカードを挿入する](#), 2 ページ）。

デフォルトでは、デバイスをオンにすると、すぐにビデオ録画が始まります。オフにするまでは、最も古い未保存のビデオが上書きされて録画が続行されます。録画中は、LED が赤く点灯した状態になります。

ビデオ録画を保存する

デフォルトでは、デバイスはセンサを使用して可能性のある衝突事故を検出し、検出対象となるイベントの前、イベントの最中、イベントの後のビデオ映像を保存します。

ビデオはいつでも手動で保存することもできます。

1 録画中に、**77 リケーション > ダッシュカメラ > **を選択します。

を選択する前、選択中、および選択した後の写真とビデオ映像が保存されます。

2 を再び選択すると、保存される録画時間が延長されます（オプション）。

メッセージにより、保存されるビデオ映像の量が示されます。

メモリカードの記録容量には限りがあります。ビデオ録画を長期保存するには、録画後にコンピュータやその他の外部記憶装置に転送する必要があります（[コンピュータでのビデオや写真](#), 3 ページ）。

写真を撮影する

このデバイスを使って写真を撮影することもできます。デフォルトでは、写真とともに時刻と位置情報が保存されます。

77 リケーション > ダッシュカメラ > の順に選択します。

写真が撮影されてメモリカードに保存されます。

ダッシュカメラによる録画を停止 / 開始する

1 **77 リケーション > ダッシュカメラ**の順に選択します。

2 次の中からオプションを選択します。

- ・ 録画を停止するには、を選択します。

ヒント：デフォルトでは、デバイスを次回オンにすると、録画は自動的に開始されます。このオプションはカメラ設定で無効にすることができます（[カメラ設定](#), 18 ページ）。

- ・ 録画を開始するには、を選択します。

ビデオや写真を表示する

注：ビデオや写真の再生中は、ビデオの録画が停止されます。

1 **77 リケーション > 再生メニュー > はい**の順に選択します。

2 ビデオまたは写真を選択します。

デバイスにビデオまたは写真が表示されます。ビデオの再生は自動的に始まります。ビデオまたは写真に位置情報が含まれる場合は、地図にその位置が表示されます。

コンピュータでのビデオや写真

Garmin Dash Cam Player アプリケーションを使用すると、録画されたビデオをコンピュータで表示、保存、および編集できます。また、ビデオに記録された時刻、日付、位置、速度の情報を表示したりオーバーレイ表示することもできます。詳細については、www.garmin.com/dashcamplayer を参照してください。

ビデオまたは写真を削除する

1 **77 リケーション > 再生メニュー > はい**の順に選択します。

2 ビデオまたは写真を選択します。

3  > はいを選択します。

ドライバーへの注意喚起の機能とアラート

注記

ドライバーアラートと制限速度機能は情報提供を行っているだけであり、すべての速度制限標識を守り、安全な運転の判断を行う責任はいかなる場合でも運転者にあります。Garmin は、適用されるすべての交通法規および標識に違反したことにより受ける罰金または出頭命令については一切責任を負いません。

このデバイスは、慣れ親しんだ地域で運転している場合でも、より安全な運転や効率の向上に役立つ機能を備えています。デバイスは、アラートごとに通知音または音声メッセージを再生し、情報を表示します。ユーザーは、アラートの種類ごとに通知音または音声メッセージを有効または無効にすることができます。アラートによっては、利用できない地域もあります。

スクールゾーンまたは近くに学校：デバイスは通知音を再生し、この先の学校やスクールゾーンまでの距離と制限速度（利用可能な場合）を表示します。

制限速度低下: デバイスは通知音を再生し、この先の制限速度低下を表示するため、速度を下げる準備を整えることができます。

制限速度超過: 現在の道路に掲示されている制限速度を超える、デバイスは通知音を再生し、速度制限アイコンに赤枠を表示します。

一方通行を逆走しています: 一方通行を逆走している場合、デバイスはメッセージを再生し、全画面の警告を表示します。一方通行路を離れるか走行方向を正しくするまで、画面の縁が赤色で表示され、アラートが画面上部に表示されたままになります。

路切: デバイスは通知音を再生し、この先の路切までの距離を表示します。

動物出没: デバイスは通知音を再生し、この先の動物出没区域までの距離を表示します。

カーブ: デバイスは通知音を再生し、道路のカーブまでの距離を表示します。

渋滞: 渋滞に、より速い速度で近づくと、デバイスは通知音を再生し、渋滞までの距離を表示します。この機能を使用するには、デバイスはトラフィック情報を受信している必要があります (トラフィックレーダーを使用してトラフィックデータを受信する, 13 ページ)。

疲労警告: 停止しないで 2 時間以上運転を続けると、デバイスは通知音を再生し、この先の休憩場所を提案します。

前方衝突警告: デバイスは、前にいる車両との間で安全車間距離を維持していないことを検出すると、警告を出します (前方衝突警告システム, 4 ページ)。

車線逸脱警告: デバイスは、意図せず車線境界を越えている可能性があることを検出すると、警告を出します (車線逸脱警告システム, 5 ページ)。

進行アラート: 停止していた交通の流れが動き出すと、デバイスは通知音を再生し、アラートを表示します。

オーディブルドライバーアラートを有効または無効にする

個別のオーディブルドライバーアラートをオフにすることができます。オーディブルアラートを無効にしても、視覚アラートは表示されます。

- 1 **設定 > 地図 / 車両 > オーディブルドライバーアラートの順に**選択します。
- 2 各アラートの横にあるチェックボックスをオンまたはオフにします。

赤信号カメラとスピードカメラ

注記

Garmin は、赤外線カメラやスピードカメラのデータベースの正確性、またはその使用による影響に対して一切の責任を負いません。

注: この機能は、一部の国、または製品モデルではご利用いただけません。

製品モデルによっては、一部地域で赤信号カメラおよびスピードカメラの位置に関する情報が利用できます。報告されたスピードカメラや赤信号カメラに近づくと、アラートされます。

- ライブの赤信号データとスピードカメラデータは、Smartphone Link アプリを使用した Garmin ライブサービスからサブスクリプションとして利用できます (Garmin ライブサービス, 15 ページ)。
- 赤信号カメラやスピードカメラの位置のデータベースを最新の状態に維持するには、スピードカメラのデータをダウンロードして保存できるようにするため、デバイスにアクティブなサブスクリプションが必要です。garmin.com/speedcameras に移動して、互換性と購入情報をご確認ください。サブスクリプションを購入したり、ワンタイムアップデート (1 回限りの更新) を行ったりできます。新しい地域

を購入したり、既存の購読を延長したりすることはいつでもできます。

注: 一部の地域の製品バンドルでは、赤信号カメラとスピードカメラのデータが事前にロードされていて、サブスクリプション無料で更新される場合があります。

- Garmin Express ソフトウェア (garmin.com/express) を使用してデバイスに保存されたカメラデータベースを更新できます。最新のカメラ情報を受信するために、デバイスを頻繁に更新してください。

高度運転支援システム

このデバイスは高度運転支援システム (ADAS) を搭載しています。このシステムは、内蔵のダッシュカメラを使用して、運転環境に関する警告やアラートを出します。

高度運転支援機能を有効または無効にする

高度運転支援機能はカメラ設定 (カメラ設定, 18 ページ) で有効または無効にすることができます。

- 1 **設定 > カメラ**の順に選択します。
- 2 各警告またはアラートの横にあるチェックボックスをオンまたはオフにします。

進行アラート

車両前方で停止していた交通の流れが再び動き出すと、進行アラートは通知音を再生し、アラートを表示します。前の車両が相当の距離を動いてもお客様の車両が停止したままの場合にのみ、このアラートは表示されます。これは、停止信号のときや渋滞の中にいるときに便利な場合があります。この機能は、ダッシュカメラを使用して車両の停止や移動を検知するため、道路の視界が良好であることが必要です。

前方衝突警告システム

警告

前方衝突警告システム (FCWS) 機能は情報提供のみを目的としているため、お客様はあらゆる道路および運転状況を監視し、すべての交通規制に従い、常に安全な運転の判断を行う義務があります。FCWS は、接近する車両を音声で警告する際にカメラを利用します。そのため、見通しが悪い状況では正しく機能しない場合があります。

注: この機能は、すべての地域およびすべての製品モデルで利用できるわけではありません。

FCWS 機能では、前方の車両との安全な車間距離を維持していないことをデバイスが検出したときに警告を出します。このデバイスは、GPS を使用して車速を判定し、車速に基づいて推定される安全な追従距離を計算します。FCWS は、車速が 48 km/h (30 mph) を超えている場合に自動的に作動します。

前方の車両との車間距離が近すぎることをデバイスが検出すると、デバイスは警告音を発して、画面に警告が表示されます。



前方衝突警告システムの性能に関するヒント

前方衝突警告システム (FCWS) の性能は、複数の要因により影響を受けます。条件によっては、FCWS 機能で前方の車両を検出できないことがあります。

- FCWS 機能は、車速が 48 km/h (30 mph) を超えている場合にのみ作動します。

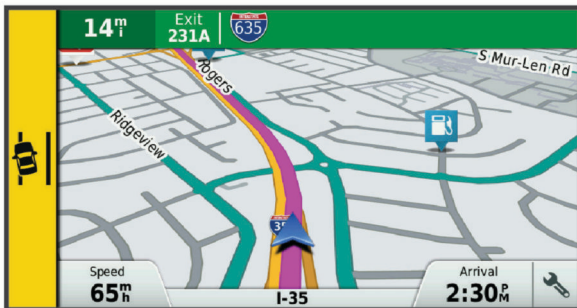
- FCWS 機能は、車載カメラの視界が雨、霧、雪、太陽やヘッドライトの眩しさ、または暗さにより遮られると、前方の車両を検出できないことがあります。
- カメラの位置合わせが不適切な場合、FCWS 機能は正しく機能しないことがあります (カメラの位置を合わせる, 3 ページ)。
- FCWS 機能は、40 m (130 ft.) よりも遠くの車両や、5 m (16 ft.) よりも近くの車両を検出できないことがあります。

車線逸脱警告システム

警告

車線逸脱警告システム (LDWS) 機能は情報提供のみを目的としているため、お客様はあらゆる道路および運転状況を監視し、すべての交通規制に従い、常に安全な運転の判断を行う義務があります。LDWS は、接近する車両を音声で警告する際にカメラを利用します。そのため、見通しが悪い状況では正しく機能しない場合があります。

LDWS 機能では、無意識に車線境界をはみ出している可能性をデバイスが検出したときに警告を出します。たとえばこのデバイスは、塗装された車線境界をはみ出したり、対向車線に入った場合に警告を出します。LDWS 機能は、車速が 64 km/h (40 mph) を超えている場合のみ警告を出します。警告は画面の左側または右側に表示され、どちらの車線境界をはみ出したのかを示します。



注：最高の LDWS 性能を得るには、カメラの配置オプションを設定して、車両内のデバイスの位置を指定する必要があります。

カメラの配置を設定する

このデバイスは、フロントガラスまたはダッシュボードの左、中央、または右に取り付けることができます。最高の LDWS 性能を得るには、カメラの配置オプションを設定して、車両内のデバイスの位置を指定する必要があります。

- 設定 > カメラ > カメラの配置を選択します。
- デバイスの位置を選択します。

車線逸脱警告の性能に関するヒント

車線逸脱警告システム (LDWS) の性能は、複数の要因により影響を受けます。条件によっては、LDWS 機能で車線逸脱が検出されないことがあります。

- LDWS 機能は、車速が 64 km/h (40 mph) を超えている場合のみ警告を出します。
- LDWS 機能は、高速道路ランプや合流車線など、特定の種類の道路では警告を発しません。
- カメラの位置合わせが不適切な場合、LDWS 機能は正しく機能しないことがあります (カメラの位置を合わせる, 3 ページ)。
- カメラの配置オプションで車両でのデバイスの配置が正しく指定されていない場合、LDWS 機能は正しく機能しないことがあります。
- LDWS 機能では、車線区画線をはっきりと連続して視認できる必要があります。
 - 区画線が雨、霧、雪、大きな影、太陽またはヘッドライトの眩しさ、道路工事、またはその他の視覚的な障害物によ

り遮られている場合、車線逸脱が検出されないことがあります。

- 車線区分線の位置が合っていない、欠落している、またはかなり摩耗している場合、車線逸脱が検出されないことがあります。
- 非常に広い、狭い、または曲がっている道路では、車線逸脱が検出されないことがあります。

目的地へのナビゲーション

ルート

ルートとは、現在地から 1 つ以上の目的地までの経路のことです。

- デバイスは、ルート計算モード (ルート探索方法を変更する, 7 ページ) や回避 (遅延、有料道路、およびエリアを回避する, 8 ページ) などで設定した環境設定に基づいて、目的地までの推奨ルートを計算します。
- ユーザーは、推奨ルートを使用して目的地へのナビゲーションをすばやく開始することも、代替ルートを選択することもできます (ナビゲーションを開始する, 5 ページ)。
- 使用または回避したい特定の道路がある場合は、ルートをカスタマイズできます (ルートを形成する, 6 ページ)。
- ルートに複数の目的地を追加できます (ルートに場所を追加する, 6 ページ)。

ナビゲーションを開始する

- 目的地検索を選択し、場所を検索します (位置の検索と保存を行う, 8 ページ)。
 - 位置を選択します。
 - 次の中からオプションを選択します。
 - 推奨ルートを使用してナビゲーションを開始するには、出発を選択します。
 - 代替ルートを指定するには、Y を選択し、ルートを選択します。
- 地図の右側に代替ルートが表示されます。
- ルートの経路を編集するには、Y > ルートの編集を選択し、ルートにシェイピングポイントを追加します (ルートを形成する, 6 ページ)。

デバイスは場所までのルートを計算し、音声案内と地図上の情報によりルートを案内します (地図上のルート, 6 ページ)。ルートにある主要な道路のプレビューが地図の端に数秒間表示されます。

追加の目的地で停止する必要がある場合、ルートに場所を追加できます (ルートに場所を追加する, 6 ページ)。

地図を使用してナビゲーションを開始する

地図から場所を選択してナビゲーションを開始できます。

- 地図表示を選択します。
 - 地図をドラッグおよび拡大 / 縮小して、検索する範囲を表示します。
 - 必要な場合は、Q を選択して、表示されたジャンル別施設をカテゴリ別にフィルタリングします。
- 地図上に位置マーカー (M または青いドット) が表示されます。
- 次の中からオプションを選択します。
 - 位置マーカーを選択します。
 - ストリート、交差点、または住所位置などのポイントを選択します。
 - 出発を選択します。

帰宅する

初めて自宅へのルートを開始すると、自宅の場所の入力を求めるメッセージがデバイスに表示されます。

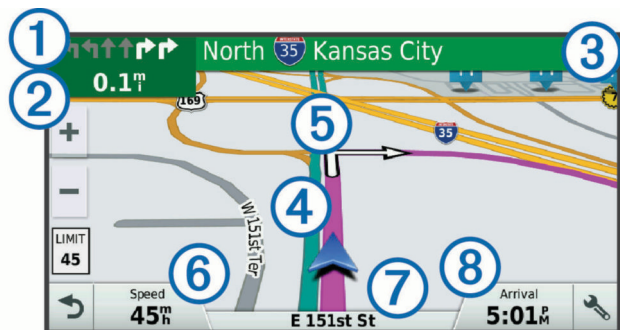
- 1 目的地検索 > 自宅への順に選択します。
- 2 必要に応じて、自宅の場所を入力します。

自宅の場所を編集する

- 1 目的地検索 > ≡ > 自宅登録の順に選択します。
- 2 自宅の場所を入力します。

地図上のルート

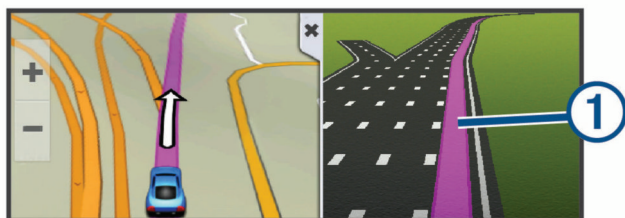
走行中、デバイスは、音声と地図上の情報で、目的地までのルートを案内します。方向転換地点や出口、またはその他のアクションに関する指示は、地図の一番上に表示されます。



①	ルートでの次のアクション。次の方向転換、出口、その他のアクションおよび（利用可能な場合）走行すべきレーンを示します。
②	次のアクションまでの距離。
③	次のアクションに関連する通りや出口の名前。
④	地図上に強調表示されたルート。
⑤	ルートでの次のアクション。地図上の矢印はこの先のアクションの場所を示します。
⑥	車速。
⑦	走行中の道路の名前。
⑧	到着予想時刻。 ヒント：このフィールドにタッチすると、表示される情報を変更できます（地図データフィールドを変更する、12 ページ）。

アクティブ車線案内

ルートをナビゲーションしているときに転換地点に近づくとき、道路の詳細なシミュレーションがある場合は地図の横に表示されます。色付きの線①は方向転換に適した車線を示します。



方向転換と方向指示を表示する

ルートのナビゲーション中に、ルートのこの先の方向転換、レーン変更、その他の方向指示を表示できます。

- 1 地図から、オプションを選択します。
 - ナビゲーションするにつれてこの先の方向転換や方向指示を表示するには、≡ > 方向転換を選択します。
 - 地図ツールで、地図の横に次の 4 つの方向転換や方向指示が表示されます。ルートをナビゲーションするにつれて、このリストは自動的に更新されます。
 - ルート全体の方向転換と方向指示の完全なリストを表示するには、地図上部のテキストバーを選択します。
- 2 方向転換または方向指示を選択します（オプション）。

詳細情報が表示されます。利用可能な場合は、主要な分岐点が画像で表示されます。

地図にルート全体を表示する

- 1 ルートのナビゲーション中に、地図上の任意の場所を選択します。
- 2 ㄥを選択します。

Garmin Real Vision™ の支援による目的地到着

Garmin Real Vision 機能では、住所や地理座標などの目的地に接近しているときにカメラビューが自動的に表示されます。目的地の位置は、ダッシュカメラで撮影された周囲の画像に表示されます。

状況によっては、この機能が表示されないこともあります。

- この機能は、地域や目的地の種類によっては利用できないことがあります。
- この機能は、ルートや道路から離れている目的地、方向転換や誘導地点に近い目的地、またはカーブや坂がきつい道路にある目的地では表示されないことがあります。
- この機能は、道路や目的地が天候や植生などの障害物に遮られると、表示されないことがあります。
- この機能は、非常に明るい環境や暗い環境では表示されないことがあります。

ルートに場所を追加する

ルートに場所を追加する前に、ナビゲーションを実行している必要があります（ナビゲーションを開始する、5 ページ）。

ルートの途中または最後に場所を追加できます。たとえば、ルートの次の目的地としてガソリンスタンドを追加できます。

ヒント：複数の目的地またはスケジュールされた経由地がある複雑なルートを作成するには、トリッププランナーを使用して、トリップの計画、スケジュール、および保存ができます（トリップを計画する、7 ページ）。

- 1 地図から、ㄥ > 目的地検索を選択します。
- 2 位置を検索します（位置の検索と保存を行う、8 ページ）。
- 3 位置を選択します。
- 4 出発を選択します。
- 5 次のの中からオプションを選択します。
 - ルートの次の目的地として場所を追加するには、次の経由地を追加を選択します。
 - ルートの最後に場所を追加するには、最後の経由地を追加を選択します。
 - 場所を追加して、ルートでの目的地の順序を編集するには、アクティブルートに追加を選択します。

デバイスは、追加された場所を含めるためにルートを再計算し、順番に目的地までのルートを案内します。

ルートを形成する

ルートを形成する前に、ルートを開始する必要があります（ナビゲーションを開始する、5 ページ）。

手動でルートを形成してコースを変更できます。これにより、ルートに目的地を追加せずに、特定の道路を使用するようにルートの方向を選択することや特定の地域を通過することができます。

- 1 地図上の任意の場所を選択します。
- 2 ㄥを選択します。
デバイスがルートシェイピングモードになります。
- 3 地図上で位置を選択します。
ヒント：+ を選択して、地図上でズームインし、より正確な場所を選択することもできます。
デバイスは、選択された場所を通過するようにルートを再計算します。

- 必要に応じて、オプションを選択します。
 - ルートにさらにシェイピングポイントを追加するには、地図上で追加の場所を選択します。
 - シェイピングポイントを削除するには、を選択します。
- ルートの形成が完了したら、**出発**を選択します。

迂回路を検索する

ルート上の指定した距離の迂回路または特定の道路周辺の迂回路を検索できます。これは、工事ゾーン、道路閉鎖、または走行が難しい道路条件が発生したときに役立ちます。

- 地図で： **ルートの変更**を選択します。
ヒント：ルートの変更ツールが [地図ツール] メニューにない場合は追加できます (地図ツールを有効にする, 11 ページ)。
- 次の中からオプションを選択します。
 - 距離を指定して迂回するには、**距離で迂回**を選択します。
 - ルート上の特定の道路を迂回するには、**道路別迂回路**を選択します。
 - 新しいルートを検索するには、**迂回路**を選択します。

ナビゲーションを停止する

地図で、 **停止**を選択します。

ルート探索方法を変更する

- 設定 > ナビゲーション > 計算モード**の順に選択します。
- 次の中からオプションを選択します。
 - 時間優先**を選択すると、一番早く目的地に到達できるルートを計算しますが、走行距離は長くなることがあります。
 - 直行**を選択すると、道路状況にかかわらず、ポイント間のルートを計算します。
 - 距離優先**を選択すると、走行距離が短くなるようにルートを計算しますが、走行時間は長くなることがあります。

トリッププランナー

トリッププランナーを使用し、トリップを作成して保存し、あとで操作することができます。配達ルート、休暇、またはドライブの計画に便利です。保存したトリップを編集して、場所の並べ替え、経由地の順序の最適化、スケジュール情報の追加、およびシェイピングポイントの追加など、さらにカスタマイズできます。

トリッププランナーを使用して、アクティブルート編集も保存することもできます。

トリップを計画する

1回のトリップに多数の目的地を含めることができ、少なくとも出発地と1つの目的地は含める必要があります。出発地は、トリップの開始を計画している場所です。トリップのナビゲーションを別の場所から開始する場合、デバイスで最初に出発地に向かうオプションを選択できます。往復する場合は、出発地と最終目的地を同じにすることができます。

- アプケーション > トリッププランナ >  > トリップの作成**の順に選択します。
- 出発地の選択**を選択します。
- 始点を指定し、**選択**を選択します。
- 目的地の選択**を選択します。
- 目的地の場所を指定し、**選択**を選択します。
- 場所の追加**を選択して、その他の場所を追加します (オプション)。
- 必要な場所をすべて追加したら、**次へ > 保存**の順に選択します。
- 名前を入力し、**OK**を選択します。

保存されているトリップをナビゲーションする

- アプケーション > トリッププランナ**の順に選択します。

- 保存されているトリップを選択します。
- 出発**を選択します。
- ナビゲーション先の最初の位置を選択し、**開始**を選択します。
デバイスは、現在地から選択した位置へのルートを計算し、残りのトリップ目的地に順番に案内します。

トリップの目的地の順序を最適化する

デバイスは、トリップの目的地の順序を自動的に最適化して、距離が短く、効率的なルートを作成します。順序を変更しても出発地と最終目的地は変更されません。

トリップを編集するときは、 **順序の最適化**を選択します。

トリップの場所を編集および並べ替える

- アプケーション > トリッププランナ**の順に選択します。
- 保存されているトリップを選択します。
- 位置を選択します。
- 次の中からオプションを選択します。
 - 場所を上下に移動するには、 を選択し、場所をトリップの新しい位置にドラッグします。
 - 選択した場所の後に新しい場所を追加するには、 を選択します。
 - 場所を削除するには、 を選択します。

アクティブルート編集および保存

ルートがアクティブな場合、トリッププランナーを使用し、トリップとしてルートを編集および保存できます。

- アプケーション > トリッププランナ > マイアクティブルート**の順に選択します。
- いずれかのトリッププランナー機能を使用して、ルートを編集します。
ルートは変更を加えるごとに再計算されます。
- トリップとしてルートを保存するには、**保存**を選択します。
ナビゲーションは後で再開できます (オプション)。

トリップのルート探索オプションを変更する

トリップを開始するとき、デバイスがルートを計算する方法をカスタマイズできます。

- アプケーション > トリッププランナ**の順に選択します。
- 保存されているトリップを選択します。
-  **> トリップの設定**を選択します。
- 次の中からオプションを選択します。
 - トリップにシェイピングポイントを追加するには、**ルートを形成する**を選択し、画面に表示される指示に従います (**ルートを形成する**, 6 ページ)。
 - トリップの計算モードを変更するには、**ルート探索方法**を選択します (**ルート探索方法を変更する**, 7 ページ)。

トリップのスケジュールを設定する

トリップ内の各場所に、希望到着時刻や各場所での乗り継ぎ時間など、スケジュール情報を追加できます。これにより、トリップで時間どおりに場所に到着できるように出発を計画できます。

- アプケーション > トリッププランナ**の順に選択します。
- トリップを選択します。
-  **> トリップの設定 > スケジュールの編集**を選択します。
- 場所を選択し、画面に表示される指示に従い、スケジュール情報を入力します。
ヒント：トリップで複数の場所をスケジュールする必要がある場合、トリップの開始から終了に向けて進めます。
- ステップ4を繰り返して、追加の場所にスケジュール情報を入力します。
- 完了したら、**保存**を選択します。

トリップをナビゲーションするとき、スケジュールされた時刻までに経由地や目的地に到着するには、始点の下に表示されている時刻までに出発する必要があります。スケジュールは予定時刻

に過ぎません。渋滞状況、工事中、およびその他の遅延が実際の到着時刻に影響する可能性があります。

推奨ルートを利用する

この機能を使用する前に、1つ以上の位置を保存して、走行履歴機能を有効にする必要があります(デバイスおよびプライバシー設定, 19 ページ)。

myTrends™ 機能を使用すると、走行履歴、特定の曜日や時刻に基づいてデバイスが目的地を予測します。保存した位置まで数回走行すると、地図上のナビゲーションバーに予定移動時間およびトラフィック情報と共にその位置が表示されます。

位置までのルート候補を表示するには、ナビゲーションバーを選択します。

遅延、有料道路、およびエリアを回避する

ルート上の交通遅延を回避する

交通の遅延を回避する前に、トラフィック情報を受信している必要があります(トラフィックレシーバーを使用してトラフィックデータを受信する, 13 ページ)。

デフォルトでは、デバイスは自動的にルートを最適化して交通遅延を回避します。[トラフィック設定]でこのオプションを無効にしている場合(トラフィック設定, 19 ページ)、手動で交通遅延を表示し、回避できます。

- 1 ナビゲーションの実行中に、> トラフィックを選択します。
- 2 代替ルートを選択します(利用可能な場合)。
- 3 出発を選択します。

有料道路を回避する

デバイスは、有料道路、有料橋などの有料区域、または渋滞区域の通過を回避できます。他に妥当なルートがない場合は、ルートに有料区域が含まれる場合があります。

- 1 設定 > ナビゲーションの順に選択します。
- 2 次の中からオプションを選択します。
 - 注: メニューは、地域とデバイス上の地図データにより変化します。
 - 有料道路を選択します。
 - 通行料金 > 有料道路を選択します。
- 3 次の中からオプションを選択します。
 - 有料区域を通過する前に毎回確認するには、常に確認するを選択します。
 - 有料道路を常に回避するには、回避を選択します。
 - 有料道路を常に許可するには、許可を選択します。
- 4 保存を選択します。

有料ステッカーを回避する

注: この機能を利用できない地域もあります。

国によっては、デバイスの地図データに詳細な有料ステッカー情報が含まれる場合があります。国ごとに有料ステッカーを回避または許可できます。

- 1 設定 > ナビゲーション > 通行料金 > 料金ステッカーを選択します。
- 2 国を選択します。
- 3 次の中からオプションを選択します。
 - 有料区域を通過する前に毎回確認するには、常に確認するを選択します。
 - 有料道路を常に回避するには、回避を選択します。
 - 有料道路を常に許可するには、許可を選択します。
- 4 保存を選択します。

道路の回避機能

- 1 設定 > ナビゲーション > 回避の順に選択します。
- 2 ルート上で回避したい道路の種類を選択し、保存を選択します。

環境ゾーンを回避する

デバイスは、お使いの車両に適用される可能性がある環境または排出制限のある地域を回避できます。

- 1 設定 > ナビゲーション > 環境ゾーンの順に選択します。
- 2 次の中からオプションを選択します。
 - 環境ゾーンを通過する前に毎回確認するには、常に確認するを選択します。
 - 環境ゾーンを常に回避するには、回避を選択します。
 - 環境ゾーンを常に許可するには、許可を選択します。
- 3 保存を選択します。

カスタム回避

カスタム回避では、道路を含む特定のエリアまたは区域を選択して回避できます。デバイスは、ルートを計算するときは、他に妥当なルートがない場合を除き、これらのエリアと道路を回避します。

道路を回避する

- 1 設定 > ナビゲーション > カスタム回避の順に選択します。
- 2 回避道路の追加を選択します。
- 3 回避する道路区域の始点を選択し、次へを選択します。
- 4 道路区域の終点を選択し、次へを選択します。
- 5 OKを選択します。

エリアを回避する

- 1 設定 > ナビゲーション > カスタム回避の順に選択します。
- 2 必要に応じて、回避の追加を選択します。
- 3 回避エリアの追加を選択します。
- 4 回避するエリアの左上隅を選択し、次へを選択します。
- 5 回避するエリアの右下隅を選択し、次へを選択します。
選択されたエリアが地図上に影付きで表示されます。
- 6 OKを選択します。

カスタム回避を無効にする

カスタム回避を削除せずに無効にします。

- 1 設定 > ナビゲーション > カスタム回避の順に選択します。
- 2 回避を選択します。
- 3 ≡ > 無効にするの順に選択します。

カスタム回避を削除する

- 1 設定 > ナビゲーション > カスタム回避の順に選択します。
- 2 次の中からオプションを選択します。
 - すべてのカスタム回避を削除するには、⌵を選択します。
 - カスタム回避を1件削除するには、削除したいカスタム回避を選択し、≡ > 削除の順に選択します。

直行ルートをナビゲーションする

ナビゲーションの指示に従わなかった場合は、直行モードを使用できます。

- 1 設定 > ナビゲーションの順に選択します。
- 2 計算モード > 直行 > 保存の順に選択します。
次のルートは、目的地への直線ルートとして計算されます。

位置の検索と保存を行う

デバイスにロードされた地図には、レストランやホテル、自動車関連などの場所や詳細なストリート情報が含まれています。目的地検索メニューは、参照、検索、情報の保存のために利用できる複数の方法により、目的地の検索に役立ちます。

- すべての場所情報をすばやく検索するには、検索語を入力します(検索バーを使用して位置を検索する, 9 ページ)。
- カテゴリーごとにロード済みのジャンル別施設を参照または検索します(ジャンル別施設, 9 ページ)。

- Foursquare®のジャンル別施設を検索し、チェックインします ([Foursquare のジャンル別施設を検索する, 9 ページ](#))。
- 検索ツールを使用して、住所、交差点、または地理座標など特定の場所を検索します ([検索ツール, 10 ページ](#))。
- 別の都市または地域の周辺を検索します ([検索エリアを変更する, 9 ページ](#))。
- お気に入りの場所を保存して後からすばやく検索できます ([位置を保存する, 10 ページ](#))。
- 最近検索した場所に戻ります ([最近検索した位置を表示する, 10 ページ](#))。

検索バーを使用して位置を検索する

検索バーでは、カテゴリ、ブランド名、住所、または都市名を入力して位置を検索します。

- 1 目的地検索を選択します。
- 2 検索バーで **検索の入力**を選択します。
- 3 検索語の全体または一部を入力します。
検索語の候補が検索バーの下に表示されます。
- 4 次のの中からオプションを選択します。
 - 業種名を検索するには、「映画館」などのカテゴリ名を入力します。
 - 店名を検索するには、名前的一部分またはすべてを入力します。
 - 現在地の住所を検索するには、番地またはストリート名を入力します。
 - 別の都市の住所を検索するには、州名、都市名、ストリート名および番地を入力します。
 - 都市を検索するには、州名および都市名を入力します。
 - 座標を検索するには、緯度 / 経度を入力します。
- 5 次のの中からオプションを選択します。
 - 検索語の候補を使用して検索するには、検索語を選択します。
 - 入力したテキストを使用して検索するには、**Q**を選択します。
- 6 必要に応じて、位置を選択します。

検索結果を地図に表示する

位置検索の結果をリストではなく地図に表示できます。

- 1 位置検索の結果から、を選択します。
検索結果の中で一番近い位置が地図に表示されます。は、他の検索結果の位置を示します。
- 2 オプションを選択します (複数可)。
 - 他の検索結果を表示するには、地図に触れてドラッグします。
 - 別の位置を選択するには、を選択します。
 - 選択した位置の詳細とルートを表示するには、地図の下部にある位置の説明を選択します。
 - 選択した位置へのナビゲーションを開始するには、**出発**を選択します。

検索エリアを変更する

デフォルトでは、デバイスは現在地に近い場所を検索します。目的地の近く、別の都市の近く、アクティブルート沿いなど別のエリアの検索もできます。

- 1 目的地検索を選択します。
- 2 **周辺検索** : を選択します。
- 3 オプションを選択します。

ジャンル別施設

ジャンル別施設は、有用と思われるまたは興味深い場所です。ジャンル別施設は、カテゴリ別に分類されガソリンスタンド、

レストラン、ホテル、娯楽施設などよく知られた移動先を含めることができます。

カテゴリを入力して位置を検索する

- 1 目的地検索を選択します。
- 2 カテゴリを選択するか、または **カテゴリ**を選択します。
- 3 必要に応じて、サブカテゴリを選択します。
- 4 位置を選択します。

カテゴリ内を検索する

ジャンル別施設の検索後、ある特定のカテゴリに、最後に選択した目的地からさかのぼって 4 か所を含むクイックサーチリストが表示される場合があります。

- 1 目的地検索 > カテゴリの順に選択します。
- 2 カテゴリを選択します。
- 3 次のの中からオプションを選択します。
 - 画面右側のクイックサーチリストから、目的地を選択します。
クイックサーチリストには、選択したカテゴリで最近検索した場所のリストが表示されます。
 - 必要に応じてサブカテゴリを選択し、目的地を選択します。

場所内のジャンル別施設にナビゲーションする

ショッピングモール内のストアまたは空港の特定のターミナルなど、大規模な場所の中にあるジャンル別施設 (POI) へのルートを作成できます。

- 1 目的地検索 > 検索の入力を選択します。
- 2 次のの中からオプションを選択します。
 - 場所を検索するには、場所の名前または住所を入力し、**Q**を選択して、手順 3 に進みます。
 - POI を検索するには、POI の名前を入力し、**Q**を選択して、手順 5 に進みます。
- 3 場所を選択します。
場所の下にレストラン、レンタカー、またはターミナルなど、カテゴリのリストが表示されます。
- 4 カテゴリを選択します。
- 5 POI を選択し、**出発**を選択します。

デバイスは、POI の周辺の駐車場または場所までのルートを作成します。目的地に到着すると、推奨の駐車場がチェックマークで示されます。ラベルの付いたポイントは、場所内にある POI の位置を示します。

場所の探索

各場所内にあるすべてのジャンル別施設のリストを表示できます。

- 1 場所を選択します。
- 2 **この場所を詳細に調査する**を選択します。

Foursquare

Foursquare は、場所に基づくソーシャルネットワークです。お使いのデバイスにはロード済みの Foursquare のジャンル別施設があり、場所検索の結果に Foursquare ロゴで示されます。

追加機能については、互換性のあるスマートフォンで Smartphone Link を使用して、Foursquare アカウントに接続できます。Smartphone Link を使用して Foursquare アカウントに接続しているときは、Foursquare の場所の詳細の表示、場所へのチェックイン、およびオンライン Foursquare データベースでジャンル別施設の検索が可能です。

Foursquare のジャンル別施設を検索する

デバイスにロードした Foursquare のジャンル別施設を検索できます。Smartphone Link を使用して Foursquare アカウントに接続しているとき、検索では、オンライン Foursquare データベースから最新の結果が得られ、Foursquare ユーザーアカウントからはカスタマイズされた結果が得られます。

目的地検索 > カテゴリ > Foursquare®の順に選択します。

Foursquare アカウントに接続する

- 1 デバイスを Smartphone Link に接続します (電話とのペアリングと Smartphone Link への接続を行う, 14 ページ)。
- 2 スマートフォンで、Smartphone Link アプリを開きます。
- 3 Smartphone Link アプリ設定を開き、Foursquare® > ログインを選択します。
- 4 Foursquare ログイン情報を入力します。

Foursquare の場所の詳細を表示する

Foursquare の場所の詳細を表示する前に、Smartphone Link が実行されているサポートされている電話に接続して、Foursquare アカウントにログインする必要があります。

ユーザー評価、レストランの価格設定情報、営業時間など、Foursquare の場所に関する詳細情報を表示できます。

- 1 場所についての検索の結果から Foursquare のジャンル別施設を選択します。
- 2 ①を選択します。

Foursquare によるチェックイン

Foursquare でチェックインする前に、Smartphone Link が実行されているサポートされている電話に接続して、Foursquare アカウントにログインする必要があります。

- 1 アプリケーション > Foursquare® > チェックインを選択します。
- 2 ジャンル別施設を選択します。
- 3 ① > チェックインを選択します。

検索ツール

検索ツールでは、画面に表示される指示に従って、特定の位置を検索できます。

住所を検索する

注：デバイスにロードした地図データによっては、手順が異なる場合があります。

- 1 目的地検索を選択します。
- 2 必要に応じて、⑨ 周辺の検索：を選択して別の都市または地域の周辺を検索します。
- 3 アドレスを選択します。
- 4 画面に表示される指示に従い、住所情報を入力します。
- 5 番地等を選択します。

交差点を検索する

2本のストリート、幹線道路、またはその他の道路の間にある交差点またはジャンクションを検索できます。

- 1 目的地検索 > カテゴリー > 交差点の順に選択します。
- 2 画面に表示される指示に従い、ストリート情報を入力します。
- 3 交差点を選択します。

都市を検索する

- 1 目的地検索 > カテゴリー > 都市の順に選択します。
- 2 次のの中からオプションを選択します。
 - ・ 周辺都市のリストから都市を選択します。
 - ・ 別の場所の周辺を検索するには、⑨ 周辺の検索：(検索エリアを変更する, 9 ページ)を選択します。
 - ・ 名前で都市を検索するには、検索の入力を選択し、都市名を入力して、Qを選択します。

座標を使用して位置を検索する

緯度 / 経度を指定して、位置を検索できます。これはジオキャッシングを行う場合に役立ちます。

- 1 目的地検索 > カテゴリー > 座標の順に選択します。
- 2 必要に応じて、⑩を選択し、座標形式やデータを変更します。
- 3 緯度 / 経度を入力します。
- 4 地図に表示を選択します。

最近検索した位置を表示する

デバイスには、過去に検索した場所の履歴が最新の 50 件保存されています。

目的地検索 > 最近表示した項目の順に選択します。

最近検索した場所のリストを消去する

目的地検索 > 最近表示した項目 > ③ > 消去 > はいの順に選択します。

最後に駐車した場所を検索する

デバイスがオンの状態でデバイスを車両電源から取り外すと、現在地が駐車場所として保存されます。

アプリケーション > 最後の場所の順に選択します。

現在地情報を表示する

[現在地の確認] ページを使用して、現在地に関する情報を表示できます。この機能は、緊急時に 110 番や 119 番で自分のいる場所を知らせる場合に便利です。

地図で、車両を選択します。

緊急時サービスとガソリンスタンドを検索する

[現在地の確認] ページを使用して、直近の病院、警察署、およびガソリンスタンドを検索できます。

- 1 地図で、車両を選択します。
- 2 病院、警察署、ガソリンスタンド、または路上支援を選択します。

注：サービスカテゴリーの中には、すべてのエリアでは提供されていないものもあります。

選択したサービスの場所のリストが表示され、最寄りの場所が一番上に表示されます。
- 3 位置を選択します。
- 4 次のの中からオプションを選択します。
 - ・ その場所までのナビゲーションを開始するには、出発を選択します。
 - ・ 電話番号や場所に関するその他の詳細を表示するには、①を選択します。

現在地への道順を表示する

自分が現在いる位置への道順を誰かに知らせる必要がある場合、道順のリストを表示できます。

- 1 地図で、車両を選択します。
- 2 ③ > 現在地までの道順の順に選択します。
- 3 始点を選択します。
- 4 選択を選択します。

ショートカットを追加する

[目的地検索] メニューにショートカットを追加できます。ショートカットから、位置、カテゴリー、または検索ツールを直接参照できます。

[目的地検索] メニューには 36 個までのショートカットアイコンを追加できます。

- 1 目的地検索 > ショートカットの追加の順に選択します。
- 2 アイテムを選択します。

ショートカットを削除する

- 1 目的地検索 > ③ > ショートカットの削除を選択します。
- 2 削除するショートカットを選択します。
- 3 確認のため再度ショートカットを選択します。
- 4 保存を選択します。

位置を保存する

位置を保存する

- 1 位置を検索します (カテゴリーを入力して位置を検索する, 9 ページ)。

- 2 検索結果から、位置を選択します。
- 3 **i** を選択します。
- 4 保存を選択します。
- 5 必要に応じて、名前を入力し、OKを選択します。

現在地を保存する

- 1 地図で、車両アイコンを選択します。
- 2 保存を選択します。
- 3 名前を入力し、OKを選択します。
- 4 OKを選択します。

保存した位置を編集する

- 1 目的地検索 > 保存済みの順に選択します。
- 2 必要に応じて、カテゴリーを選択します。
- 3 位置を選択します。
- 4 **i** を選択します。
- 5 **≡** > 編集の順に選択します。
- 6 次の中からオプションを選択します。
 - 名前を選択します。
 - 電話番号を選択します。
 - カテゴリーを保存した位置に割り当てるには、カテゴリーを選択します。
 - 地図上に保存した位置をマークするために使用する記号を変更するには、地図記号の変更を選択します。
- 7 情報を編集します。
- 8 OKを選択します。

保存した位置にカテゴリーを割り当てる

カスタムカテゴリーを使用して保存した位置を整理できます。

注：位置を12件以上保存すると、カテゴリーが[保存した位置]メニューに表示されます。

- 1 目的地検索 > 保存済みの順に選択します。
- 2 位置を選択します。
- 3 **i** を選択します。
- 4 **≡** > 編集 > カテゴリーの順に選択します。
- 5 1つ以上のカテゴリー名を、カンマ区切りで入力します。
- 6 必要に応じて、カテゴリーの候補を選択します。
- 7 OKを選択します。

保存した位置を削除する

注：削除された位置情報を復元することはできません。

- 1 目的地検索 > 保存済みの順に選択します。
- 2 **≡** > 保存した場所の削除の順に選択します。
- 3 削除する保存済み位置情報にチェックをして、削除を選択します。

地図を使用する

地図を使用してルートのナビゲーションを行うこと(地図上のルート, 6 ページ)やアクティブなルートがないときに周囲の地図を表示することができます。

- 1 地図表示を選択します。
- 2 地図上の任意の場所を選択します。
- 3 次の中からオプションを選択します。
 - 地図をドラッグして、上下左右に回転します。
 - 拡大または縮小するには、**+** または **-** を選択します。
 - ノースアップ表示と3D表示を切り替えるには、**▲** を選択します。
 - 表示されたジャンル別施設をカテゴリー別にフィルタリングするには、**Q** を選択します。

- ルートを開始するには、地図上で位置を選択し、**出発**(地図を使用してナビゲーションを開始する, 5 ページ)を選択します。

地図ツール

地図ツールを使用すると、地図を表示しながら情報やデバイスの機能にすばやくアクセスできます。地図ツールを有効化すると、地図の端にあるパネルに表示されます。

停止: アクティブルートのナビゲーションを停止します。

カメラ: ビデオの表示、ビデオの保存、ダッシュカメラの設定変更ができます。

ルートの変更: 迂回したり、ルートの場所をスキップしたりできます。

この先: ルートや走行中の道路沿いの、この先の場所を表示します(この先, 11 ページ)。

方向転換: ルートのこの先の方向転換のリストを表示します(方向転換と方向指示を表示する, 6 ページ)。

出張データ: 速度や距離など、カスタマイズできるトリップデータを表示します(地図からトリップデータを表示する, 12 ページ)。

音量: マスターオーディオ音量を調節します。

輝度: 画面の輝度を調節します。

電話: 接続されている電話の最新の通話を表示し、通話中に通話中オプションを表示します(通話中オプションを使用する, 17 ページ)。

トラフィック: ルート沿いまたはエリアの交通状況を表示します(進行方向の交通事故を表示する, 12 ページ)。

天気: エリアの天気状況を表示します。

photoLive: photoLive サブスクリプションからのライブトラフィックカメラを表示します(photoLive トラフィックカメラ, 17 ページ)。

カメラを通知: スピードカメラや赤信号カメラを通知できます。このツールは、デバイスにスピードカメラデータや赤信号カメラデータがあり、Smartphone Link アプリ(電話とのペアリングと Smartphone Link への接続を行う, 14 ページ)。

地図ツールを表示する

- 1 地図で **⋮** を選択します。
- 2 地図ツールを選択します。
地図ツールが地図の端にあるパネルに表示されます。
- 3 地図ツールを使い終わったら、**✕** を選択します。

地図ツールを有効にする

デフォルトでは、最も一般的に使用される地図ツールのみが[地図ツール]メニューで有効にされています。メニューには、最大12個のツールを追加できます。

- 1 地図で **⋮** > **⚙** を選択します。
- 2 追加する各ツールの横にあるチェックボックスを選択します。
- 3 保存を選択します。

この先

この先ツールは、ルートや走行中の道路沿いの、この先の場所についての情報を提供します。レストラン、ガソリンスタンド、サービスエリアなど、この先のジャンル別施設を表示できます。高速道路の走行中は、高速道路標識についての情報と同様に、この先の出口や都市についての情報と利用できるサービスも表示できます。

3つのカテゴリーをこの先ツールに表示するようにカスタマイズできます。

この先の場所を表示する

- 1 地図から **⋮** > この先を選択します。

- 2 次の中からオプションを選択します。
 - 各カテゴリの、次のこの先の場所を表示するには、必要に応じて **■** を選択します。
 - この先の高速道路出口や都市についての情報と利用できるサービスを表示するには、**📍** を選択します。
注：このオプションは、高速道路走行中、またはルートに高速道路が含まれる場合にのみ利用可能です。
- 3 そのカテゴリ、出口、または都市について、場所のリストを表示する項目を選択します。

[この先] カテゴリをカスタマイズする

この先ツールで表示する場所カテゴリを変更できます。

- 1 地図から **⋮** > この先を選択します。
- 2 カテゴリを選択します。
- 3 **📍** を選択します。
- 4 次の中からオプションを選択します。
 - リスト内のカテゴリを上下に移動するには、カテゴリ名の横にある矢印を選択してドラッグします。
 - カテゴリを変更するには、カテゴリを選択します。
 - カスタムカテゴリを作成するには、カテゴリを選択して、**カスタム検索**を選択し、ビジネスまたはカテゴリの名前を入力します。
- 5 OKを選択します。

トリップ情報

地図からトリップデータを表示する

地図上にトリップデータを表示するには、[地図ツール] メニューにこのツールを追加する必要があります (地図ツールを有効にする, 11 ページ)。

地図で **⋮** > 出張データを選択します。

トリップデータフィールドをカスタマイズする

トリップデータ地図ツールに表示されるデータをカスタマイズできるようにするには、まず、[地図ツール] メニューにトリップデータツールを追加する必要があります (地図ツールを有効にする, 11 ページ)。

- 1 地図で **⋮** > 出張データを選択します。
- 2 トリップデータフィールドを選択します。
- 3 オプションを選択します。
トリップデータ地図ツールに、新しいトリップデータフィールドが表示されます。

トリップ情報ページを表示する

トリップ情報ページには、速度が表示され、トリップに関する統計情報が表示されます。

注：経路地が多い場合はデバイスの電源をオンにしておいてください。走行中の経過時間を正確に計測できます。

地図で、**スピード**を選択します。

軌跡ログを表示する

デバイスでは、軌跡ログ (走行した経路の記録) を保持しています。

- 1 設定 > 地図 / 車両 > 地図レイヤーの順に選択します。
- 2 軌跡ログチェックボックスをオンにします。

トリップ情報をリセットする

- 1 地図で、**スピード**を選択します。
- 2 **≡** > **フィールド** の以外の順に選択します。
- 3 次の中からオプションを選択します。
 - 先頭ページのスピードメーター以外のデータフィールドをすべてリセットするには、ルートのナビゲーションをしていないときに、**すべて選択**を選択します。
 - トリップコンピュータの情報をリセットするには、**トリップデータの除外**を選択します。

- 最高速度をリセットするには、**最高速度のリセット**を選択します。
- オドメーターをリセットするには、**トリップ B のリセット**を選択します。

進行方向の交通事故を表示する

現在のルートや走行中の道路の進行方向にある交通事故を表示できます。

- 1 ナビゲーションの実行中に、**⋮** > **トラフィック**を選択します。
地図の右側にあるパネルに、進行方向で発生している交通事故のうち、最も近くにあるものが表示されます。
- 2 この交通事故を選択して、追加情報を表示します。

地図上に交通渋滞情報を表示する

交通渋滞地図は、道路状況が色分けされて表示されます。

- 1 メインメニューで、**777** **リケーション** > **トラフィック**を選択します。
- 2 必要に応じて、**≡** > **凡例**を選択し、交通渋滞地図の凡例を表示します。

交通事故情報を検索する

- 1 メインメニューで、**777** **リケーション** > **トラフィック**を選択します。
- 2 **≡** > **事故**を選択します。
- 3 リストからアイテムを選択します。
- 4 事故が複数地点で発生しているときに別の事故を表示するには、矢印を使用します。

地図をカスタマイズする

地図レイヤーをカスタマイズする

ジャンル別施設を表すアイコンや道路状況など、地図上に表示するデータをカスタマイズできます。

- 1 設定 > 地図 / 車両 > 地図レイヤーの順に選択します。
- 2 地図に表示したいレイヤーを選択し、**保存**を選択します。

地図データフィールドを変更する

- 1 地図からデータフィールドを選択します。
注：スピードはカスタマイズできません。
- 2 表示するデータの種類を選択します。

地図表示方法を変更する

- 1 設定 > 地図 / 車両 > 運転地図表示の順に選択します。
- 2 次の中からオプションを選択します。
 - トラフィック**を選択すると地図が 2D 表示され、進行方向が常に上になるように表示されます。
 - ノースアップ**を選択すると地図が 2D 表示され、北が常に上になるように表示されます。
 - 3D**を選択すると地図が 3D 表示されます。
- 3 **保存**を選択します。

トラフィックデータ

注記

Garmin は交通情報の正確性または適時性について責任を負いません。

トラフィックデータは、すべての地域およびすべての製品モデルで利用できるわけではありません。トラフィックレシーバーおよび利用可能な地域については、www.garmin.com/traffic を参照してください。

交通渋滞を回避するには、デバイスがライブトラフィックデータを受信する必要があります。

- デバイスにトラフィックレシーバーが組み込まれている場合、利用できる場所であれば、無線ブロードキャスト信号からトラフィックデータを受信できます。

- FMトラフィックレシーバーは、末尾が LT または LMT の製品モデルに組み込まれています。
- トラフィックレシーバーを使用してトラフィックデータを受信するには、付属の電源ケーブルを使用してデバイスを車両電源に接続する必要があります。
- トラフィックレシーバーを使用して情報を受信するには、デバイスがトラフィックデータ信号の範囲内にある必要があります。
- デバイスは、Smartphone Link アプリからサブスクリプションサービスとしてトラフィック情報を受信できます。

トラフィックレシーバーを使用してトラフィックデータを受信する

注記

ヒーター付き (熱線付き) フロントガラスは、交通情報受信機の性能を低下させることがあります。

デバイスにトラフィックレシーバーが組み込まれている場合、利用できる場所であれば、無線ブロードキャスト信号からトラフィックデータを受信できます。この機能は、すべての地域およびすべての製品モデルで利用できるわけではありません。

- 1 デバイスにトラフィックレシーバーが組み込まれていることを確認します。
 - FMトラフィックレシーバーは、末尾が LT または LMT の製品モデルに組み込まれています。
- 2 デバイスに付属する電源ケーブルを使用して、デバイスを車両電源に接続します ([デバイスを車両電源に接続する, 2 ページ](#))。

デバイスに付属する電源ケーブルには、トラフィックレシーバー用のアンテナが組み込まれています。

ユーザーがトラフィック情報を利用できる地域にいれば、デバイスはトラフィック情報を表示でき、交通遅延の回避に役立ちます。

Smartphone Link を使用してトラフィックデータを受信する

ライブトラフィックサービスは、トラフィックデータをリアルタイムに提供します。

- 1 互換性のある電話に Smartphone Link をダウンロードします ([Smartphone Link をダウンロードする, 15 ページ](#))。
- 2 ライブトラフィックサービスを購読します ([Garmin ライブサービスに申し込む, 16 ページ](#))。
- 3 デバイスを、Smartphone Link を実行している電話に接続します ([電話とのペアリングと Smartphone Link への接続を行う, 14 ページ](#))。

トラフィック購読について

購読の有効期限が切れている場合は、購読を追加購入または更新することができます。 <http://www.garmin.com/traffic> にアクセスします。

トラフィックサブスクリプションを表示する

設定 > トラフィック > 購読の順に選択します。

サブスクリプションを追加する

他の地域または国のトラフィックサブスクリプションを購入することができます。

- 1 メインメニューで、トラフィックを選択します。
- 2 購読 > **+** を選択します。
- 3 FMトラフィックレシーバーのユニット ID を書き留めます。
- 4 サブスクリプションを購入するには、 www.garmin.com/fmtraffic にアクセスして 25 文字のコードを取得してください。

トラフィックサブスクリプションコードは再使用できません。サービスを更新するたびに新しいコードを取得する必要があります。

があります。複数の FMトラフィックレシーバーを持っている場合は、レシーバーそれぞれに個別のコードを取得する必要があります。

- 5 デバイスで 次へ を選択します。
- 6 コードを入力します。
- 7 OK を選択します。

トラフィックを有効にする

トラフィックデータを有効または無効にできます。

- 1 設定 > トラフィックの順に選択します。
- 2 トラフィックチェックボックスをオンにします。

音声コマンド

注：すべての言語や地域で音声コマンドが使用できるわけではありません。また、音声コマンドを利用できないモデルもあります。

注：周囲の音が多い場合、音声認識ナビが望ましい性能を発揮できない可能性があります。

音声コマンドを使って、単語やコマンドを読み上げてデバイスを 사용할ことができます。 [音声コマンド] メニューには、音声プロンプトや利用可能なコマンドのリストが表示されます。

ウェイクアップフレーズを設定する

ウェイクアップフレーズは、音声コマンドをアクティブにするために使用する単語またはフレーズです。デフォルトのウェイクアップフレーズは「音声コマンド」です。

ヒント：強いウェイクアップフレーズを使用して、音声コマンドが誤動作する可能性を減らすことができます。

- 1 **アプリケーション > 音声コマンド >  > ウェイクアップフレーズの順に選択します。**
- 2 新しいウェイクアップフレーズを入力します。
フレーズを入力すると、デバイスにウェイクアップフレーズの強度が表示されます。
- 3 OK を選択します。

音声コマンドを有効化する

ウェイクアップフレーズを発音します。

[音声コマンド] メニューが表示されます。

音声コマンドのヒント

- デバイスで指定される通常の音声で発音します。
- 音声やラジオなどの暗騒音を減らすと、音声認識の精度が向上します。
- 画面にコマンドが表示されたら、そのコマンドを発音します。
- 必要に応じて、デバイスからの音声案内に応答します。
- 音声コマンドの誤作動を減らすには、ウェイクアップフレーズを長くします。
- デバイスが音声コマンドへ移行したこと、および終了したことを確認する 2 つのトーンを聞きます。

音声コマンドを使用してナビゲーションを開始する

人気のある、有名な場所の名前を発音できます。

- 1 ウェイクアップフレーズを発音します ([ウェイクアップフレーズを設定する, 13 ページ](#))。
- 2 場所の検索と発音します。
- 3 音声案内を聞き、場所の名前を発音します。
- 4 行番号を発音します。
- 5 **ナビゲーション** と発音します。

音声コマンドを使用してビデオ録画を保存する

音声コマンド機能を使用して、ダッシュカメラのビデオ映像を手動で保存できます。

1 ウェイクアップフレーズを発音します。

2 「ビデオを保存」と言います。

「ビデオを保存」と言う前、言っている間、および言った後の写真とビデオ映像が保存されます。

ミュートの手順

デバイスをミュートせずに、音声コマンドの音声案内を無効にすることができます。

1 **77 リークション > 音声コマンド > ㄣ**を選択します。

2 指示をミュート (消音) にする > 有効の順に選択します。

音声制御

音声コマンド機能が使用できない地域では、音声制御機能が有効化されます。音声制御機能を使用すると、音声によってデバイスを制御できるようになります。音声制御機能を使用するには、自分の音声で制御できるよう設定する必要があります。

音声制御の設定

ボイスコマンド機能は、1人のユーザーの音声で設定します。設定後は他のユーザーの音声は認識されません。

1 **77 リークション > ボイスコマンド**の順に選択します。

2 画面に表示される指示に従い、各音声制御フレーズのコマンドを記録します。

注: 画面のフレーズのとおりに読む必要はありません。好みに応じて、同じ意味を持つ別のコマンドを発音することもできます。

音声制御機能を使用するには、その機能に対して記録したコマンドを発音する必要があります。

音声制御の使用

1 ボイスコマンドフレーズに対して記録したコマンドを発音します。

[音声制御] メニューが表示されます。

2 画面に表示される指示に従います。

音声制御のヒント

- デバイスで指定される通常の音声で発音します。
- 音声やラジオなどの暗騒音を減らすと、音声認識の精度が向上します。
- 画面にコマンドが表示されたら、そのコマンドを発音します。
- デバイスがコマンドを正常に認識すると、トーンが1回鳴ります。

Bluetooth 接続の機能

デバイスには、互換性のあるスマートフォン用の、Bluetooth 接続の機能がいくつか用意されています。一部の機能を使用するには、スマートフォンに Smartphone Link アプリをインストールする必要があります。詳細については、garmin.com/smartphonelink を参照してください。

ハンズフリー通話: デバイスを使用して電話をかけたり受けたりできるほか、デバイスをハンズフリースピーカーフォンとして使用できます。選択した言語が音声コマンド機能をサポートしている場合は、音声コマンドを使用して電話をかけることができます。

通知: 電話の通知とメッセージをデバイスに表示します。この機能を利用できない言語もあります。

位置情報をデバイスに送信: スマートフォンから位置情報をナビゲーションデバイスに送信できます。

Foursquare チェックイン: ナビゲーションデバイスを使用して、Foursquare の場所にチェックインできます。

最新の天気情報: リアルタイムの天気概況や警報をデバイスに送信します。

Garmin ライブサービス: サブスクリプションベースのサービスを提供して、交通状況、駐車場、詳細な天気予報のようなライブデータをデバイスで表示します。

電話とのペアリングと Smartphone Link への接続を行う

Bluetooth 機能を利用するには、Garmin DriveAssist デバイスを電話とペアリングする必要があります。デバイスは、ペアリングされると、電源がオンになって範囲内にあるときに、自動的に接続されます。

一部の機能を使用するには、Smartphone Link アプリが必要です。Smartphone Link アプリには、ペアリングプロセス中、または後で接続できます。

- 1 電話のアプリストアから、Smartphone Link アプリをインストールします (オプション)。
- 2 Garmin DriveAssist デバイスと電話の距離は 3 m (10 ft.) 以内になるようにします。
- 3 Garmin DriveAssist デバイスで、**設定 > Bluetooth** を選択し、**Bluetooth** チェックボックスをオンにします。
- 4 **デバイスの検索**を選択します。
- 5 電話側で Bluetooth 無線技術を有効にして、電話を検出可能に設定します。
詳細についてはデバイスのマニュアルを参照してください。
- 6 Garmin DriveAssist デバイスで **OK** を選択します。
Garmin DriveAssist デバイスが近くの Bluetooth デバイスの検索を開始し、Bluetooth デバイスのリストが表示されます。電話がリストに表示されるまで、最大 1 分かかることがあります。
- 7 リストから電話を選択し、**OK** を選択します。
- 8 電話で、ペアリング要求を確認します。
- 9 電話で、Smartphone Link アプリを開きます (オプション)。
Apple®デバイスとペアリングしている場合、Garmin DriveAssist の画面にセキュリティコードが表示されます。
- 10 必要に応じて、セキュリティコードを 30 秒以内に電話に入力します。

Bluetooth 機能のステータスアイコン

ステータスアイコンは、Bluetooth 設定のペアリングされた各電話の横に表示されます。

設定 > Bluetooth の順に選択します。

- グレーのアイコンは、その電話について、機能が無効になっているか、切断されていることを示します。
- 色の付いたアイコンは、その電話について、機能が接続されていて、アクティブになっていることを示します。

	ハンズフリー通話
	スマート通知
	Smartphone Link の機能とサービス

Apple デバイス用に Bluetooth 機能をセットアップする

デフォルトでは、電話をペアリングしたとき、互換性のあるすべての Bluetooth 機能が有効になっています。特定の機能を有効にしたり、無効にしたり、カスタマイズしたりできます。

Apple デバイスの Smartphone Link アプリに接続する

Smartphone Link アプリに接続するには、Garmin DriveAssist デバイスを電話とペアリングして接続する必要があります。

ペアリングプロセス中に Smartphone Link アプリに接続しなかった場合は、接続すると、追加の Bluetooth 機能を利用できません。Smartphone Link アプリは Bluetooth Smart 技術を利用して電話と通信します。Apple デバイス上の Smartphone Link ア

アプリに初めて接続するときは、Bluetooth Smart のセキュリティコードを入力する必要があります。

- 1 電話のアプリストアから、Smartphone Link アプリをインストールします。
- 2 電話で、Smartphone Link アプリを開きます。
Garmin DriveAssist デバイスの画面に、セキュリティコードが表示されます。
- 3 電話で、コードを入力します。

Apple デバイスのハンズフリー通話を無効にする

ハンズフリー通話を無効にしても、Smartphone Link のデータと通知のために電話に接続したままにすることができます。

- 1 **設定 > Bluetooth** の順に選択します。
- 2 ハンズフリー通話に使用する電話名を選択します。
ヒント：電話では、異なる 2 つの名前を使用してハンズフリー通話とデータに接続することがあります。ハンズフリー通話に使用する電話名の横に、色の付いた  が表示されます。
- 3 通話チェックボックスをオフにします。

Apple デバイスの Smartphone Link のデータとスマート通知を無効にする

Smartphone Link のデータとスマート通知を無効にしても、ハンズフリー通話のために電話に接続したままにすることができます。

- 1 **設定 > Bluetooth** の順に選択します。
- 2 Smartphone Link のデータと通知に接続する電話名を選択します。
ヒント：お使いの電話は、異なる 2 つの名前を使用してハンズフリー通話およびデータに接続することがあります。データと通知に使用する電話名の横に  と  が青で表示されます。
- 3 スマートフォンサービスチェックボックスをオフにします。

Apple デバイスの通知カテゴリを表示または非表示にする

カテゴリを表示または非表示にして、デバイスに表示される通知をフィルタリングできます。

- 1 **設定 > Bluetooth** の順に選択します。
- 2 Smartphone Link のデータと通知に接続する電話名を選択します。
ヒント：お使いの電話は、異なる 2 つの名前を使用してハンズフリー通話およびデータに接続することがあります。データと通知に使用する電話名の横に  と  が色付きで表示されます。
- 3 スマート通知を選択します。
- 4 表示する各通知の横にあるチェックボックスをオンにします。

Android™ が搭載されたスマートフォンの Bluetooth 機能をセットアップする

デフォルトでは、電話をペアリングしたとき、互換性のあるすべての Bluetooth 機能が有効になっています。特定の機能を有効にしたり、無効にしたり、カスタマイズしたりできます。

Android スマートフォンの Smartphone Link アプリに接続する

Smartphone Link アプリに接続するには、Garmin DriveAssist デバイスを電話とペアリングして接続する必要があります。

ペアリングプロセス中に Smartphone Link アプリに接続しなかった場合は、接続すると、追加の Bluetooth 機能を利用できます。

- 1 電話のアプリストアから、Smartphone Link アプリをインストールします。
- 2 電話で Smartphone Link アプリを開きます。

Android が搭載されたスマートフォンの Bluetooth 機能を無効にする

特定の Bluetooth 機能を無効にしても、他の機能には接続したままにすることができます。

- 1 **設定 > Bluetooth** の順に選択します。
- 2 電話名を選択します。
- 3 次の中からオプションを選択します。
 - ハンズフリー通話を無効にするには、**通話**チェックボックスをオフにします。
 - Smartphone Link のデータとスマート通知を無効にするには、**Smartphone Link** チェックボックスをオフにします。
 - 特定のアプリ通知を無効にするには、Smartphone Link アプリの設定を使用します。

Android が搭載されたスマートフォンの通知を表示または非表示にする

Smartphone Link アプリを使用して、Garmin DriveAssist デバイスに表示する通知の種類を選択できます。

- 1 電話で Smartphone Link アプリを開きます。
- 2  を選択します。
- 3 **スマート通知**チェックボックスがオンになっていることを確認します。
- 4 **通知セクション**から、**設定**を選択します。
通知カテゴリとアプリのリストが表示されます。
- 5 次の中からオプションを選択します。
 - 通知を有効または無効にするには、カテゴリまたはアプリ名の横にある切り替えスイッチを選択します。
 - リストにアプリを追加するには、**+**を選択します。

Smartphone Link

Smartphone Link は電話データ接続を使用して位置データを電話と同期しライブ情報にアクセスするための電話アプリケーションです。デバイスは Bluetooth 無線技術を使用して、Smartphone Link からデータを転送します。ライブ情報は Garmin ライブサービスが提供する無料の購読ベースプランから利用できます ([Garmin ライブサービス](#), 15 ページ)。

デバイスを Smartphone Link に接続するたびに、保存されている場所と最近検索した場所が電話と同期されます。

Smartphone Link をダウンロードする

Smartphone Link は一部のスマートフォンで利用できます。互換性と購入情報については、www.garmin.com/smartphonelink を参照するか、お使いの携帯電話のアプリケーションストアを参照してください。

サポートされている電話のアプリケーションストアから Smartphone Link をダウンロードします。

アプリケーションのダウンロードとインストールについては、使用している電話に付属のマニュアルを参照してください。

電話からデバイスに位置を送信する

Smartphone Link は、電話にナビゲーションアプリケーションとして登録されています。

- 1 電話から、ある位置へのナビゲーションを開始するためのボタンを選択します (電話に付属のマニュアルを参照)。
- 2 アプリケーションメニューで、**Smartphone Link** を選択します。

次回、デバイスを電話に接続すると、その位置が、デバイスの最近検索した場所に転送されます。

Garmin ライブサービス

Garmin ライブサービスを使用する前に、Smartphone Link が実行されているサポートされている電話にデバイスを接続しておく必要があります ([電話とのペアリングと Smartphone Link への接続を行う](#), 14 ページ)。

Smartphone Link に接続すると、Garmin ライブサービスにアクセスできるようになります。Garmin ライブサービスには、渋滞状況や天気などのライブデータをデバイスで表示するための、サブスクリプションベースプランが無料で用意されています。

天気など、サービスの中には独立したアプリとしてデバイスで使用するものがあります。また、ライブトラフィックなど、デバイスに既に存在しているナビゲーション機能を強化するサービスもあります。Garmin ライブサービスへのアクセスを必要とする機能には、Smartphone Link 記号が、デバイスが Smartphone Link に接続されている場合のみ表示されます。

Garmin ライブサービスに申し込む

Garmin ライブサービスに申し込むには、あらかじめ、電話に Smartphone Link アプリをインストールしておく必要があります。

- 1 電話の Smartphone Link アプリを起動します (電話とのペアリングと Smartphone Link への接続を行う, 14 ページ)。
- 2 マイアカウントを選択します。
サービスとサブスクリプション価格の一覧が表示されます。
- 3 サービスを選択します。
- 4 価格を選択します。
- 5 サブスクリプションを選択します。
- 6 画面に表示される指示に従います。

スマート通知

デバイスが Smartphone Link アプリに接続されているときは、Garmin DriveAssist デバイスのスマートフォンから、テキストメッセージ、着信、カレンダーの予定のような通知を表示できます。

注：ナビゲーションデバイスが Smartphone Link アプリに接続した後、ナビゲーションデバイス上で通知を受信するまで数分間待つことが必要な場合があります。スマート通知が接続され、アクティブになると、Bluetooth 設定に  が色付きで表示されます (Bluetooth 機能のステータスアイコン, 14 ページ)。

通知を受信する

注記

運転中は通知を読んだり返信したりしないでください。

Garmin DriveAssist デバイスで通知を受信するには、デバイスをスマートフォンおよび Smartphone Link アプリに接続する必要があります。

デバイスがスマートフォンから通知を受信すると、ほとんどのページからポップアップが表示されます。デバイスが移動中の場合、通知を表示するには、自分が乗客であり、運転者ではないことを確認する必要があります。

注：地図を表示している場合、通知は地図ツールに表示されません。

- 通知を無視するには、OK を選択します。
ポップアップが閉じますが、通知は電話でアクティブのままです。
- 通知を表示するには、表示を選択します。
- 通知を聞くには、表示 > 再生の順に選択します。
デバイスは TTS (Text-to-Speech) 技術を利用して通知を読み上げます。この機能を利用できない言語もあります。
- 電話からその通知を却下するなど追加アクションを実行するには、表示を選択してからオプションを選択します。
注：追加アクションは、一部の通知タイプでのみ利用でき、通知を生成したアプリでサポートされている必要があります。

地図の表示中に通知を受信する

注記

運転中は通知を読んだり返信したりしないでください。

Garmin DriveAssist デバイスで通知を受信するには、デバイスをスマートフォンおよび Smartphone Link アプリに接続する必要があります。

地図を表示しているとき、画面の端にある地図ツールに新しい通知が表示されます。デバイスが移動中の場合、通知を表示するには、自分が乗客であり、運転者ではないことを確認する必要があります。

- 通知を確認するには、✕ を選択します。
ポップアップが閉じますが、通知は電話でアクティブのままです。
- 通知を表示するには、通知テキストを選択します。
- 通知を聞くには、メッセージを再生を選択します。
デバイスは TTS (Text-to-Speech) 技術を利用して通知を読み上げます。この機能を利用できない言語もあります。
- 音声コマンドを使用して通知を聞くには、メッセージを再生を選択します。
注：このオプションが利用可能なのは、選択した言語で音声コマンド機能がサポートされていて、地図ツールに  が表示されているときだけです。
- 電話からその通知を却下するなど追加アクションを実行するには、表示を選択してからオプションを選択します。
注：追加アクションは、一部の通知タイプでのみ利用でき、通知を生成したアプリでサポートされている必要があります。

通知のリストを表示する

すべてのアクティブな通知のリストを表示できます。

- 1 アプリケーション > スマート通知の順に選択します。

通知のリストが表示されます。未読の通知は黒で表示され、以前に読まれた通知はグレーで表示されます。

- 2 次のの中からオプションを選択します。

- 通知を表示するには、通知の説明を選択します。
- 通知を聞くには、▶ を選択します。

デバイスは TTS (Text-to-Speech) 技術を利用して通知を読み上げます。この機能を利用できない言語もあります。

ハンズフリー通話

注：ほとんどの携帯電話とヘッドセットは対応しており使用できますが、特定の携帯電話やヘッドセットの使用は保証できません。お使いの携帯電話では、一部の機能が利用できない場合があります。

Bluetooth 無線技術を使用すると、デバイスを携帯電話に接続し、ハンズフリーデバイスとして使用できます。接続されている間は、デバイスで電話をかけたり受けたりすることができます。

電話をかける

番号をダイヤルする

- 1 アプリケーション > 電話 > ダイアルの順に選択します。
- 2 番号を入力します。
- 3 ダイアルを選択します。

電話帳の連絡先に電話をかける

電話とデバイスが接続されるたびに電話帳が電話からデバイスにロードされます。電話帳が利用可能になるまでに数分かかることがあります。一部の電話機ではこの機能はサポートされていません。

- 1 アプリケーション > 電話 > 電話帳の順に選択します。
- 2 連絡先を選択します。
- 3 通話を選択します。

施設に電話をかける

- 1 アプリケーション > 電話 > カテゴリーを参照の順に選択します。
- 2 ジャンル別施設を選択します。
- 3 通話を選択します。

電話を受ける

電話がかかってきたときには、回答または無視を選択します。

通話履歴を使用する

電話とデバイスが接続されるたびに通話履歴が電話からデバイスにロードされます。通話履歴が利用可能になるまでに数分かかることがあります。一部の電話機ではこの機能はサポートされていません。

- 1 **アプリケーション > 電話 > 通話履歴**の順に選択します。
- 2 カテゴリーを選択します。
通話の一覧が表示されます。最新の通話が一番上です。
- 3 通話を選択します。

通話中オプションを使用する

通話中に、地図から通話中オプションを選択できます。

- 音声の出力先を電話に切り替えるには、**📞**を選択します。
ヒント：この機能は、通話中にデバイスの電源をオフにする場合やスピーカーでなく電話で話したい場合に使用します。
- ダイヤルパッドを使用するには、**☎**を選択します。
ヒント：この機能を使用して、留守番電話などの自動システムを使用できます。
- マイクをミュートするには、**🔇**を選択します。
- 電話を切るには、**🔴**を選択します。

自宅の電話番号を保存する

ヒント：自宅の電話番号を保存した後で、この番号を編集するには、保存した位置リストにある「自宅」を編集します（[保存した位置を編集する](#), 11 ページ）。

- 1 **アプリケーション > 電話 > ☰ > 自宅電話番号の設定**の順に選択します。
- 2 電話番号を入力します。
- 3 OKを選択します。

自宅に電話をかける

自宅に電話をかける前に、自宅の電話番号を入力する必要があります。

アプリケーション > 電話 > 自宅へ電話の順に選択します。

Bluetooth デバイスの取り外し

ペアリングされているデバイスのリストから削除しないで、Bluetooth デバイスを一時的に取り外すことができます。Bluetooth デバイスは Garmin DriveAssist デバイスに後で自動的に接続できます。

- 1 **設定 > Bluetooth**の順に選択します。
- 2 接続を解除するデバイスを選択します。
- 3 ペアリングされているデバイスの名前の横にあるチェックボックスをオフにします。

ペアリングした電話を削除する

ペアリングした電話とのペアリングを解除して、今後自動的にデバイスに接続できないようにできます。

- 1 **設定 > Bluetooth**の順に選択します。
- 2 電話を選択して、**ペアリングの解除**を選択します。

アプリケーションを使用する

ヘルプファイルの表示

フルマニュアルを参照するには、**アプリケーション > ヘルプ**の順に選択します。

ヘルプトピックを検索する

アプリケーション > ヘルプ > Qの順に選択します。

天気予報を表示する

この機能を使用するには、デバイスで天気予報データを受信している必要があります。デバイスを Smartphone Link アプリに接続して、天気予報データを受信できます（[電話とのペアリングと Smartphone Link への接続を行う](#), 14 ページ）。

- 1 **アプリケーション > 天気**を選択します。
デバイスは、現在の天気概況と今後数日間の予報を表示します。
- 2 曜日を選択します。
選択した曜日の詳細な天気予報が表示されます。

別の都市周辺の天気を表示する

- 1 **アプリケーション > 天気 > 現在地**の順に選択します。
- 2 次の中からオプションを選択します。
 - お気に入りの都市の天気を表示するには、リストの都市を選択します。
 - お気に入りの都市を追加するには、**都市の追加**を選択し、都市名を入力します。

気象観測レーダーを表示する

この機能を使用する前に、スマートフォンリンクを使用して、詳細な天気予報サービスを購入する必要があります。

地図上に現在の天候が色分けされたアニメーションで表示され、天気アイコンも表示されます。天気アイコンが、雨、雪、雷雨など、近隣の天候の表示に変化します。

- 1 **アプリケーション > 天気**を選択します。
- 2 必要に応じて、都市を選択します。
- 3 **☰ > 気象観測レーダー**を選択します。

気象警報を表示する

この機能を使用する前に、スマートフォンリンクを使用して、詳細な天気予報サービスを購入する必要があります。

デバイスと共に移動中に、気象警報が地図上に表示されることがあります。また、現在地または選択した都市周辺の気象警報の地図を表示することもできます。

- 1 **アプリケーション > 天気**を選択します。
- 2 必要に応じて、都市を選択します。
- 3 **☰ > 気象警報**の順に選択します。

道路状況を確認する

この機能を使用する前に、スマートフォンリンクを使用して、詳細な天気予報サービスを購入する必要があります。

- 1 **アプリケーション > 天気**を選択します。
- 2 必要に応じて、都市を選択します。
- 3 **☰ > 道路状況**を選択します。

photoLive トラフィックカメラ

photoLive トラフィックカメラは、主要な道路および交差点の交通状況をライブ画像で提供します。定期的に表示させるカメラを保存できます。

トラフィックカメラを保存する

この機能を使用する前に、photoLive サービスに申し込み、Smartphone Link が実行されているサポートされている電話にデバイスを接続しておく必要があります（[Smartphone Link](#), 15 ページ）。

この機能を利用できない地域もあります。

- 1 **アプリケーション > photoLive**を選択します。
- 2 **触れて追加**を選択します。
- 3 道路を選択します。
- 4 交差点を選択します。
- 5 **保存**を選択します。

トラフィックカメラを表示する

トラフィックカメラを表示できるようにするには、トラフィックカメラを保存する必要があります([トラフィックカメラを保存する](#), 17 ページ)。

- 1 **77° リーグ> photoLive** の順に選択します。
- 2 カメラを選択します。

前のルートと目的地を表示する

この機能を使用する前に、走行履歴機能を有効にする必要があります([デバイスおよびプライバシー設定](#), 19 ページ)。

前のルートと停止した場所を地図上に表示することができます。
77° リーグ> 目的地の履歴を選択します。

デバイスをカスタマイズする

地図および車両設定

設定 > 地図 / 車両の順に選択します。

車両: 地図上で自分の位置を表すアイコンを設定します。

運転地図表示: 地図の表示方法を設定します。

詳細度: 地図の詳細度を設定します。 詳細度が高いほど、地図の描画に時間がかかることがあります。

地図テーマ: 地図データの色を変更します。

地図ツール: 地図のツールメニューに表示するショートカットを設定します。

地図レイヤー: 地図ページに表示するデータを設定します([地図レイヤーをカスタマイズする](#), 12 ページ)。

自動ズーム: 地図の使用に最適なズームレベルが自動的に選択されます。 無効にすると、ズームインまたはズームアウトを手動で行う必要があります。

マイマップ: デバイスで使用されるインストール済み地図を設定します。

地図を有効にする

デバイスにインストールされている地図製品を有効にすることができます。

ヒント: 追加の地図製品を購入するには、<http://buy.garmin.com> にアクセスしてください。

- 1 **設定 > 地図 / 車両 > マイマップ**の順に選択します。
- 2 地図を選択します。

ナビゲーション設定

設定 > ナビゲーションの順に選択します。

ルートのプレビュー: ナビゲーションを開始すると、ルートの幹線道路のプレビューを表示します。

計算モード: ルート計算方法を設定します。

疲労警告: 休憩なしに長時間運転を続けると警告します。

回避: ルート上で回避する道路の特徴を設定します。

カスタム回避: 特定の道路や地域を回避することができます。

環境ゾーン: お使いの車両に適用される可能性がある環境または排出制限のある地域に回避の環境設定を行います。

有料道路: 有料道路を回避する環境設定を設定します。

通行料金: 有料道路と料金ステッカーを回避する環境設定を設定します。

注: この機能を利用できない地域もあります。

制限モード: 運転中に注意散漫になって事故を招く恐れのあるすべてのデバイス機能が無効になります。

GPS シミュレーター: デバイスによる GPS 信号の受信を停止し、バッテリーを節約します。

計算モードの設定

設定 > ナビゲーション > 計算モードの順に選択します。

ルート計算モードは、道路の速度データや車両の加減速率に基づいています。

時間優先: 一番早く目的地に到達できるルートを計算しますが、走行距離は長くなることがあります。

距離優先: 走行距離が短くなるようにルートを計算しますが、走行時間は長くなることがあります。

直行: 現在地から目的地までの直線距離を計算します。

シミュレートされた場所を設定する

屋内にいる場合、または衛星信号を受信していない場合、GPS を使用してシミュレートした場所を設定することができます。

- 1 **設定 > ナビゲーション > GPS シミュレーター**を選択します。
- 2 メインメニューで、**地図表示**を選択します。
- 3 地図を 2 回タップして、エリアを選択します。
この位置の住所が画面の下部に表示されます。
- 4 位置の説明を選択します。
- 5 **現在地変更**を選択します。

カメラ設定

設定 > カメラの順に選択します。

Garmin Real Vision™: 目的地に接近しているときにカメラビューを表示します([Garmin Real Vision™の支援による目的地到着](#), 6 ページ)。

前方衝突警告: 前方の車両との車間距離が近すぎるのを検出したときに警告を出します([前方衝突警告システム](#), 4 ページ)。

前方衝突の感度: 前方衝突警告の感度を設定できます。 感度を高くすると、感度が低い場合よりもアラートが早くなります。

車線逸脱警告: 無意識に車線境界をはみ出している可能性があることをデバイスが検出したときに警告を出します([車線逸脱警告システム](#), 5 ページ)。

カメラの配置: 車両内でのデバイスの配置を指定することができます。

車両の高さ: デバイスが取り付けられる車両のクラスを指定します。 これは特にデバイスをバンやトラックなど車高の高い車両で使用するとき、運転者支援機能の精度の向上に役立ちます。

進行アラート: 停止していた交通の流れが動き出したときに警告を出します([進行アラート](#), 4 ページ)。

起動時に録画: デバイスをオンにしたときにダッシュカメラでビデオの録画を自動的に開始できるようにします。

自動事故検出: 運転中の事故を検出した場合に、自動的にビデオを保存します。

タイムスタンプ設定: 録画されたビデオに日付、時刻、位置、速度の情報を含めます。

ビデオ解像度: ビデオ録画の解像度と画質を設定します。

簡易パーキングモード: 外部電源が失われたときに選択した時間までビデオの録画を続けます。

バックアップカメラ設定

バックアップカメラ設定で、ペアリングされた Garmin バックアップカメラの管理と設定を行えます。 このメニューは、ナビゲーションデバイスがワイヤレスカメラのレシーバーケーブルに接続されている場合にのみ、そのデバイスに表示されます。 カメラのペアリングと設定についての詳細は、バックアップカメラのマニュアルを参照してください。 garmin.com/babycam にアクセスして、Garmin バックアップカメラを購入します。

設定 > バックアップカメラの順に選択し、ペアリングされたカメラを選択します。

ペアリングの解除: ペアリングされているカメラを削除します。 表示する前にデバイスとケーブルを使用して再度カメラをペアリングする必要があります。

名前を変更: ペアリングされているカメラの名前を変更できます。

ガイドスライン: ガイドスラインを表示または非表示にしたり、ガイドスラインの位置を調整できます。

babyCam 設定

babyCam 設定で、ペアリングされた Garmin babyCam™カメラの管理と設定を行えます。このメニューは、ナビゲーションデバイスがワイヤレスカメラのレシーバーケーブルに接続されている場合にのみ、そのデバイスに表示されます。カメラのペアリングとカメラの設定についての詳細は、お使いのカメラのマニュアルを参照してください。 garmin.com/babycam に移動して Garmin babyCam カメラを購入します。

設定 > babyCam の順に選択し、ペアリングされたカメラを選択します。

電源の設定: ビデオを画面に表示する時間を設定できます。

ビデオを反転: ビデオを上下または左右に反転できます。

整列: babyCam ビデオを表示してカメラを整列できます。

シート確認を確認: 降車する前に後部座席の乗員をチェックするように促します。

ペアリングの解除: ペアリングされているカメラを削除します。

名前を変更: ペアリングされているカメラの名前を変更できます。

Bluetooth 設定

設定 > Bluetooth の順に選択します。

Bluetooth: Bluetooth 無線技術を有効にします。

デバイスの検索: 周辺にある Bluetooth 搭載デバイスを検索します。

フレンドリー名: Bluetooth 無線技術で、デバイスの識別に使用されるわかりやすい名前を入力します。

Bluetooth を無効にする

1 **設定 > Bluetooth** の順に選択します。

2 **Bluetooth** を選択します。

ディスプレイ設定

設定 > 表示 の順に選択します。

カラーモード: 昼または夜のカラーモードを選択できます。自動オプションを選択すると、時刻により昼または夜のカラーが自動的に切り替わります。

輝度: ディスプレイの輝度を調節できます。

ディスプレイ省電力モード: バッテリー電源の使用時にデバイスがスリープモードに移行するまでのアイドル時間を設定できます。

キャプチャ: デバイス画面の画像を撮影できます。スクリーンショットは、デバイスの Screenshot フォルダに保存されます。

トラフィック設定

メインメニューで、**設定 > トラフィック** の順に選択します。

トラフィック: トラフィックを有効にします。

現在のプロバイダ: トラフィックデータに使用するトラフィックプロバイダを設定します。自動オプションでは、利用可能な最適なトラフィックデータが自動的に選択されます。

購読: 現在のトラフィックサブスクリプションをリスト表示します。

最適なルート: デバイスが最適な代替ルートを自動的に、または要求に応じて使用できるようにします ([ルート上の交通遅延を回避する](#), 8 ページ)。

交通アラート: 交通アラートを表示する交通遅延状態の程度を設定します。

単位および時間設定

単位および時間設定ページを開くには、メインメニューで、**設定 > 単位 / 時間** の順に選択します。

現在の時刻: デバイスの時間を設定します。

時刻の形式: 表示時間に 12 時間、24 時間、または UTC を選択できます。

単位: 距離の測定に使用する単位を設定します。

位置フォーマット: 地理座標に使用する座標形式とデータを設定します。

時間を設定する

1 メインメニューから時間を選択します。

2 次の中からオプションを選択します。

- GPS 情報を使用して自動的に時間を設定するには、**自動**を選択します。
- 時間を手動で設定するには、数字を上下にドラッグします。

言語およびキーボード設定

[言語およびキーボード設定] を開くには、メインメニューから**設定 > 言語 / キーボード**を選択します。

音声言語: 音声案内の言語を変更します。

テキスト言語: 画面に表示されるすべてのテキストを、選択された言語に変更します。

注: テキスト言語を変更しても、ユーザー入力データまたは通り名などの地図データの言語は変更されません。

キーボード言語: キーボード言語を有効にします。

近接アラート設定

注: 近接ポイントアラートを表示するには、カスタム POI (主要ポイント) がロードされている必要があります。

注: この機能を利用できない地域もあります。

設定 > 近接アラート の順に選択します。

オーディオ: 近接ポイントに近づいた時に鳴るアラートのスタイルを設定します。

アラート: アラートが鳴る近接ポイントの種類を設定します。

デバイスおよびプライバシー設定

デバイスの設定ページを開くには、**設定 > デバイス** を選択します。

バージョン情報: ソフトウェアバージョン番号、ユニット ID 番号、その他の複数のソフトウェア機能についての情報を表示します。

EULA: エンドユーザー使用許諾契約を表示します。

注: システムソフトウェアの更新または追加地図データの購入時に、この情報が必要となります。

位置レポート: 位置情報を Garmin と共有してコンテンツの品質を向上させます。

走行履歴: デバイスで myTrends 目的地の履歴、および軌跡ログ機能に関する情報を記録します。

走行履歴の消去: myTrends 目的地の履歴、および奇跡ログ機能から走行履歴を消去します。

設定を初期化する

設定のカテゴリーまたはすべての設定を工場出荷時の初期設定値に戻すことができます。

1 **設定** を選択します。

2 必要に応じて、設定のカテゴリーを選択します。

3 **三 > 初期化** の順に選択します。

デバイス情報

仕様

動作温度範囲	-20° ~ 55°C (-4° ~ 131°F)
充電温度範囲	0° ~ 45°C (32° ~ 113°F)
電源入力	付属の車両用電源ケーブルを使用した電源供給 別売アクセサリを使用して AC 電源から電源供給 (家庭やオフィスでの使用時限定)
バッテリータイプ	充電式リチウムイオン

電源ケーブル

デバイスはさまざまな方法で電源をオンにできます。

- 車両電源ケーブル
- USB ケーブル
- AC アダプター (別売アクセサリ)

デバイスを充電する

注：このクラス III 製品は LPS 電源により電源が供給されます。以下のいずれかの方法で、デバイスのバッテリーを充電することができます。

- デバイスを車両電源に接続します。
- USB ケーブルを使用してデバイスをコンピュータに接続します。
コンピュータに接続しているときは、デバイスの充電に時間がかかる場合があります。一部のポータブルコンピュータでは、デバイスが充電されない場合があります。
- コンセント電源アダプターなどのオプション電源アダプターアクセサリにデバイスを接続します。

家庭用またはオフィス用に適した、承認済みの Garmin AC-DC アダプターを Garmin 販売店または www.garmin.com から購入できます。

デバイスのメンテナンス

デバイスのお手入れ

注記

装置を落とさないようにしてください。

長時間高温に晒されるような場所に装置を保管しないでください。破損する可能性があります。

タッチスクリーンの操作に硬いものやとがったものは絶対に使用しないでください。スクリーンを傷つける恐れがあります。

デバイスを水に濡らさないでください。

カメラレンズのクリーニング

注記

乾いた布でレンズを拭かないでください。乾いた布を使用すると、レンズを傷めることがあります。

化学洗剤や溶媒は使用しないでください。プラスチック部品が損傷する可能性があります。

録画ビデオの品質を改善するため、カメラレンズを定期的にクリーニングする必要があります。

- 1 水またはアルコールに浸した、傷を付けない柔らかい布でレンズを拭きます。
- 2 レンズを空気乾燥させます。

外側ケースのクリーニング

注記

化学洗剤や溶媒は使用しないでください。プラスチック部品が損傷する可能性があります。

- 1 低刺激性の洗浄液で湿らせた布で、デバイスの外側ケース(タッチスクリーン以外) を拭きます。
- 2 デバイスの湿気を拭き取ります。

タッチスクリーンのクリーニング

- 1 柔らかく、清潔で糸くずの出ない布を使用します。
- 2 必要に応じて、布を軽く湿らせます。
- 3 湿らせた布を使用する場合は、デバイスの電源をオフにして、デバイスを電源から切り離します。
- 4 力を入れずに画面を布で拭きます。

盗難防止

- 使用しないときは、デバイスおよびマウントを見えるところから取り外してください。
- 吸着カップによって付いたフロントガラス上の汚れを取り除いてください。
- ユニットをダッシュボードのグローブボックスに入れておかないでください。
- お使いのデバイスは <http://my.garmin.com> で登録してください。

デバイスをリセットする

デバイスが動作を停止した場合は、リセットできます。
電源キーを 12 秒間押し続けます。

デバイス、マウント、吸着カップを取り外す

マウントからデバイスを取り外す

- 1 マウントのつまみまたはボタンを押してすぐに離します。
- 2 デバイスを前方へ傾けます。

吸着カップからマウントを取り外す

- 1 デバイスのマウントを右または左に回転させます。
- 2 マウントのソケットから吸着カップのボールが外れるまで力を掛けます。

フロントガラスから吸着カップを取り外す

- 1 吸着カップのレバーを自分の方に倒します。
- 2 吸着カップのつまみを自分の方に引きます。

車両電源ケーブルのヒューズを交換する

注記

ヒューズを交換する場合は、小さな部品をすべてなくさないようにし、それらを正しい場所に戻してください。車両電源ケーブルを誤って取り付けると、動作しません。

車両からデバイスに充電できない場合は、車両用アダプターの先端にあるヒューズの交換が必要な場合があります。

- 1 先端①を反時計回りに 90 度回して、ロック解除します。



ヒント：先端の取り外しには、硬貨を使用する必要がある場合があります。

- 2 先端、銀色のチップ②、およびヒューズ③を取り外します。
- 3 1 A または 2 A など、同じ電流の新しい速断ヒューズを挿入します。
- 4 銀色のチップが先端にはまっていることを確認します。
- 5 先端を押し込み、90 度回転して、車両電源ケーブル④にロックします。

トラブルシューティング

録画したビデオがぼやけている

- カメラレンズをクリーニングします (カメラレンズのクリーニング, 20 ページ)。
- カメラの前にあるフロントガラスをクリーニングします。
- カメラの前にあるフロントガラスの領域がフロントガラスのワイパーできれいになることを確認し、必要に応じてデバイスを移動します。

録画したビデオが途切れる / 不完全

- カメラおよびビデオの最適な撮影結果が得られるように、速度レーティングクラス 10 以上の高品質のメモ리카ードを使用します。
低速のメモ리카ードではビデオの録画速度に追いつかない場合があります。
- デバイスにメモ리카ードエラーのアラートが表示された場合は、メモ리카ードを交換します (ダッシュカメラのメモ리카ードを挿入する, 2 ページ)。
- デバイスを最新のソフトウェアに更新します (Garmin Express による地図とソフトウェアの更新, 1 ページ)。

メモ리카ードの寿命を延ばすにはどうすればよいですか？

すべての microSD メモ리카ードは、上書きが何度も繰り返されると損耗します。ダッシュカメラは、連続的に録画するため、適宜メモ리카ードを交換してください (ダッシュカメラのメモ리카ードを挿入する, 2 ページ)。デバイスは、メモ리카ードのエラーを自動的に検出し、メモ리카ードの交換時期になったときに警告を出します。

メモ리카ードの寿命を延ばすには、以下の対応を実施できます。

- 車両を使っていないときは、デバイスの電源をオフにします。
デバイスがイグニッション連動の車両電源コンセントに接続されていない場合は、ダッシュカメラが不要な映像を録画しないように、車両を使っていないときはデバイスの電源をオフにしてください。
- 保存したビデオ映像をコンピュータに転送します。
メモ리카ードは、空き容量が多い方が寿命が長くなります。
- 速度レーティングクラス 10 以上の高品質のメモ리카ードを使用します。
交換用のメモ리카ードは、高品質のメーカーや評判の良い販売店から購入してください。

吸盤がフロントガラスに取り付けられない

- 吸盤とフロントガラスを消毒用アルコールで拭き取ります。
- 乾燥した清潔な布で乾かします。
- 吸盤を取り付けます (デバイスを車両電源に接続する, 2 ページ)。

デバイスで衛星信号を受信できない

- GPS シミュレーターがオフになっていることを確認します (ナビゲーション設定, 18 ページ)。
- 駐車場からデバイスを持ち出して、高層ビルや樹木から離してください。
- 数分間静止したままにします。

デバイスを車両で充電できない

- 車両電源ケーブルのヒューズを点検します (車両電源ケーブルのヒューズを交換する, 20 ページ)。
- 車両のイグニッションがオンになっており、電源コンセントに電気が流れていることを確認します。
- 車内温度が仕様で指定されている充電温度範囲内であることを確認します。

- 車両の電源コンセントのヒューズが切れていないことを確認します。

充電しても電池の電力が長持ちしない

- 画面の輝度を下げます (ディスプレイ設定, 19 ページ)。
- ディスプレイのタイムアウトを短くします (ディスプレイ設定, 19 ページ)。
- 音量を下げます (音量を調整する, 2 ページ)。
- Bluetooth 無線技術が無効にします (Bluetooth を無効にする, 19 ページ)。
- 使用していないデバイスはスリープモードにします (デバイスの電源をオンまたはオフにする, 2 ページ)。
- デバイスを高温になる場所に保管しないでください。
- デバイスは直射日光の当たるところに放置しないでください。

使用しているデバイスが、コンピュータのリムーバブルデバイスとして表示されません

大半の Windows コンピュータでは、デバイスは Media Transfer Protocol (MTP) を使用して接続されます。MTP モードでは、デバイスはリムーバブルドライブではなく、ポータブルデバイスとして表示されます。MTP モードは、Windows 7、Windows Vista®、および Windows XP Service Pack 3 (Windows Media Player 10 付属) でサポートされています。

使用しているデバイスが、コンピュータのポータブルデバイスとして表示されません

Mac コンピュータや、一部の Windows コンピュータでは、デバイスは USB 大容量記憶装置モードを使用して接続されます。USB 大容量記憶装置モードでは、このデバイスは、ポータブルデバイスではなく、リムーバブルドライブまたはボリュームとして表示されます。Windows のうち、Windows XP Service Pack 3 より前のバージョンでは、USB 大容量記憶装置モードを使用します。

使用しているデバイスは、コンピュータのポータブルデバイス、リムーバブルドライブ、ボリュームのいずれとしても表示されません

- コンピュータから USB ケーブルを取り外します。
- デバイスの電源をオフにします。
- USB ケーブルをデバイスおよびコンピュータの USB ポートに接続してください。

ヒント：USB ケーブルは、USB ハブではなく、コンピューターの USB ポートに接続する必要があります。

デバイスが自動的にオンになり、MTP モード、または USB 大容量記憶装置モードになります。コンピュータとデバイスが接続されている画像が、デバイス画面に表示されます。

注：お使いのコンピュータで複数のネットワークドライブがマッピングされている場合、Windows が Garmin ドライブにドライブレターを割り当てる際に不具合が生じている可能性があります。ドライブレター割り当てについての詳細は、オペレーティングシステムのヘルプファイルを参照してください。

電話がデバイスに接続されません

- 設定 > Bluetooth の順に選択します。
Bluetooth フィールドは有効に設定する必要があります。
- 電話で Bluetooth 無線技術を有効にし、デバイスから 10m (33 フィート) 以内の範囲に電話を持ってきます。
- 詳細については、www.garmin.com/bluetooth を参照してください。

地図およびデータ用のメモリカードを挿入する

メモリカードを挿入して、デバイスの地図やその他のデータの記憶容量を増やすことができます。メモリカードを家電量販店から購入するか、www.garmin.com/maps にアクセスして Garmin 地図ソフトウェアがあらかじめロードされているメモリカードを購入できます。このデバイスは、4~64 GB の microSD メモリカードに対応しています。

- 1 デバイスの地図およびデータメモリカードスロットの場所を確認します ([Garmin DriveAssist デバイスの概要, 1 ページ](#))。
- 2 メモリカードをスロットに挿入します。
- 3 カチッと音がするまで押し込んでください。

データ管理

ファイルをデバイスに保存できます。デバイスには、データストレージを追加できるメモリカードスロットがあります。

注：このデバイスは、Windows 95、98、Me、Windows NT®、および Mac OS 10.3 以下には対応していません。

メモリーカードについて

家電販売店からメモリーカードを購入したり、あらかじめロードされている Garmin 地図ソフトウェア (www.garmin.com) を購入できます。地図やデータの記録に加え、メモリーカードを使用して、地図、イメージ、ジオキャッシュ、ルート、ウェイポイント、およびカスタム POI などのファイルを保存できます。

デバイスをコンピュータに接続する

USB ケーブルを使用して、デバイスをコンピュータに接続できます。

- 1 USB ケーブルの小さい方の端をデバイスのポートに接続します。
- 2 USB ケーブルの大きい方の端をコンピュータのポートに接続します。
コンピュータとデバイスが接続されている画像が、デバイス画面に表示されます。
コンピュータのオペレーティングシステムにより、デバイスはポータブルデバイス、リムーバブルドライブ、またはリムーバブルボリュームとして表示されます。

コンピュータからデータを転送する

- 1 デバイスをコンピュータに接続します ([デバイスをコンピュータに接続する, 22 ページ](#))。
コンピュータのオペレーティングシステムにより、デバイスはポータブルデバイス、リムーバブルドライブ、またはリムーバブルボリュームとして表示されます。
- 2 コンピュータで、ファイルブラウザを開きます。
- 3 ファイルを選択します。
- 4 [編集] > [コピー] の順に選択します。
- 5 デバイス上のフォルダを参照します。
注：リムーバブルドライブまたはボリュームの場合、Garmin フォルダにファイルを入れないでください。
- 6 [編集] > [貼り付け] の順に選択します。

USB ケーブルを取り外す

デバイスがリムーバブルドライブまたはボリュームとしてコンピュータに接続されている場合、データの損失を避けるため、デバイスをコンピュータから安全に取り外す必要があります。デバイスがポータブルデバイスとして Windows コンピュータに接続されている場合は、安全に取り外す必要はありません。

- 1 次の手順を実行します。
 - Windows コンピュータの場合、システムトレイの [ハードウェアの安全な取り外し] アイコンを選択し、デバイスを選択します。
 - Mac コンピュータの場合は、ボリュームアイコンをごみ箱にドラッグします。

- 2 コンピュータからケーブルを取り外します。

GPS 信号ステータスを表示する

 を 3 秒間押し続けます。

追加の地図を購入する

- 1 garmin.com のデバイス製品ページにアクセスします。
- 2 [マップ] タブをクリックします。
- 3 画面に表示される指示に従います。

アクセサリを購入する

garmin.com/accessories にアクセスします。

索引

記号

2D 地図表示 12
3D 地図表示 12

A

アイコン, ステータスバー 2
赤信号カメラ 4
アクセサリ 22
アクティブ車線案内 6
アラート 3, 4

B

バックアップカメラ 18
場所 9
場所を検索する. 関連項目 位置
住所 10
都市 10
バッテリー
充電 2, 20, 21
問題 21
最大化 21
ビデオ
品質 21
保存する 3, 14
記録 3
再生 3
削除 3

C

地図 5, 11, 12, 18
データフィールド 6, 12
記号 6
購入 22
更新 1
ルートを表示する 6
詳細度 18
テーマ 18
ツール 11
レイヤー 12
地図表示
2D 12
3D 12

D

ダッシュカメラ 2, 18, 21
ビデオの録画 3
ビデオ再生 3
位置合わせ 3
写真 3
デバイスのクリーニング 20
デバイスのお手入れ 20
デバイスの取り付け
自動車 2
吸着カップ 2, 20
マウントを取り外す 20
デバイスを充電する 2, 20, 21
電源ケーブル 20
ヒューズ交換 20
車両 2
電源キー 1, 2
電話
ペアリング 14, 21
取り外し 17
電話に回答する 17
電話をかける 16, 17
電話に回答する 17
自宅 17
かける 16
ダイヤルする 16
履歴 17
連絡先 16
ディスプレイ設定 19
道路状況, 天気 17
ドライバーアラート 3, 4

E

衛星信号
捕捉 2

表示 22
EULA 19

F

ファイル, 転送する 22
Foursquare 9, 10

G

Garmin Connect 14
Garmin Express, ソフトウェアを更新する 1
Garmin Real Vision 6
言語
キーボード 19
音声 19
[現在地の確認] 10
Bluetooth 技術 16
デバイスの取り外し 17
Bluetooth 技術 14, 21
電話の管理 14, 15
電話のペアリング 14
設定 19
通話の無効化 15
無効 19
GPS 2, 22

H

ハンズフリー通話 14, 15
編集, 保存されたトリップ 7
ヘルプ. 17 関連項目 製品のサポート
方向 6
方向転換地点 6
保存した位置 7
カテゴリ 11
削除 11
編集 11
保存する, 現在地 11
ヒューズ, 変更 20

I

イベント検出 3
位置 10, 18
場所 9
保存する 10
最近検索した 10
シミュレート 18
検索対象 8, 10
現在 10, 11
電話をかける 16
位置を検索する 8, 9
交差点 10
カテゴリ 9
座標 10
ID 番号 19

J

ジャンル別施設 (POI) 9, 10
場所 9
自動音量, 有効にする 3
時間設定 19
自宅
電話をかける 17
位置を編集する 6
移動 5
電話番号 17
住所, 検索する 10

K

回避 8
道路機能 8
道路 8
エリア 8
料金 8
削除 8
無効 8
カメラ 19
赤信号 4
バックアップ 18
ダッシュカメラ 2, 3, 18
スピード 4
ケーブル, 電源 20
検索バー 9

検索エリアを変更する 9
キーボード
言語 19
レイアウト 19
緊急時サービス 10
近接ポイントアラート, 設定 19
帰宅する 5
この先 11
カスタマイズ 12
高度運転支援システム (ADAS) 4
高度運転者支援システム (ADAS) 4, 5
交差点, 検索する 10
更新
地図 1
ソフトウェア 1
クイックサーチ 9
クリーニング, デバイス 20, 21
吸着カップ 20

M

マウント, 削除 20
マウントを取り外す 20
メモ리카ード 1, 21
挿入する 2, 22
メモリーカード 22
microSD カード 1, 2, 21, 22
目的地 18. 参照項目 位置
Garmin Real Vision 6
myTrends, ルート 8
ミュート操作, オーディオ 14

N

ナビゲーション 6, 9
設定 18
直行ルート 8
燃料, ガソリンスタンド 10

O

音量, 調節 2, 3
音声制御 14
ヒント 14
オンスクリーンボタン 2
オーディオ, 近接ポイント 19

P

ペアリング
電話 14, 21
取り外し 17

R

Garmin ライブサービス 15
サービスに申し込む 16
リセットする
デバイス 20
トリップデータ 12
ルート 5
地図上に表示する 6
開始 5
計算 7
計算モード 7, 18
形成する 6
候補 8
myTrends 8
ポイントを追加する 6, 7
停止する 7
ルート情報 6
ルートを形成する 6
料金, 回避する 8

S

サブスクリプション, Garmin ライブサービス 16
最近検索した場所 10
削除
ペアリング Bluetooth デバイス 17
トリップ 7
製品のサポート 17
設定 18, 19
車両電源ケーブル 2
写真
表示 3

- 削除 3
- 仕様 20
- Smartphone Link 14, 15
 - Garmin ライブサービス 15
 - 接続 14, 15
 - 通話の無効化 15
- ソフトウェア
 - バージョン 19
 - 更新 1
- 走行履歴 19
- スクリーンショット 19
- スピードカメラ 4
- スリープモード 2
- 車線逸脱警告システム (LDWS) 3, 5

T

- タッチスクリーンのクリーニング 20
- 天気 17
 - 道路状況 17
 - レーダー 17
- トラブルシューティング 21
- トラフィック 12, 13, 19
 - 代替ルート 8
 - カメラ 17, 18
 - レシーバー 13
 - サブスクリプションの追加 13
 - 事故 12
 - 地図 12
 - 遅延の検索 12
- 取り外し, Bluetooth デバイス 17
- トリップ情報 12
 - 表示 12
 - リセットする 12
- トリッププランナー 7
 - シェイピングポイント 7
 - トリップを編集する 7
- 盗難, 回避する 20
- ツール, 地図 11
- 通話 16
 - ダイヤルする 17
 - 電話に応答する 17
 - ミュート操作 17
 - 音声ダイヤル 17
- 通知 14–16

U

- 迂回路 7
- 運転方向 6
- USB, 取り外し 22

W

- ワイヤレスカメラ 18, 19

Y

- ユニット ID 19

Z

- 前方衝突警告システム (FCWS) 3, 4

こ

- コンピュータ, 接続 21, 22

し

- ジオキャッシュ 10
- シミュレートされた場所 18
- ショートカット
 - 削除 10
 - 追加 10

た

- ダイヤルする 16

て

- デバイスをカスタマイズする 18

と

- トラフィックカメラ, 表示 18

